

# 西東京市人口推計調査 報告書

令和4年11月  
西東京市

# 目 次

1. 人口推計の概要.....	1
(1) 目的.....	1
(2) 推計方法の概要.....	1
(3) 推計結果の概要.....	1
2. 推計方法と対象期間.....	2
(1) 人口推計のフロー.....	2
(2) 推計対象期間.....	3
(3) 数値の取扱いについて.....	3
3. 推計の諸条件設定.....	4
(1) 生残率の設定.....	4
(2) 女性の5歳階級別の出生率の設定.....	5
(3) 男女別出生性比の設定.....	6
(4) 純移動率の設定.....	7
(5) 推計期間に見込まれる大規模住宅開発による転入数の調整.....	11
4. 推計結果.....	12
(1) 総人口.....	12
(2) 年齢3区分別人口.....	14
(3) 男女別人口.....	23
(4) 人口ピラミッド（5歳階級別人口）.....	24
(5) 世帯数推計.....	26
(6) 行政区別人口（参考）.....	28
5. 前回の人口推計等との比較.....	33
平成29年度推計結果との比較.....	33

# 1. 人口推計の概要

## (1) 目的

- ・西東京市では、西東京市第3次総合計画の策定に当たり、計画の目標年度における人口の動向を推測し、施策や事業の方向性、行政サービスの需要量などを検討するための基礎資料とすることを目的として、令和5（2023）年から令和24（2042）年の人口を推計する。

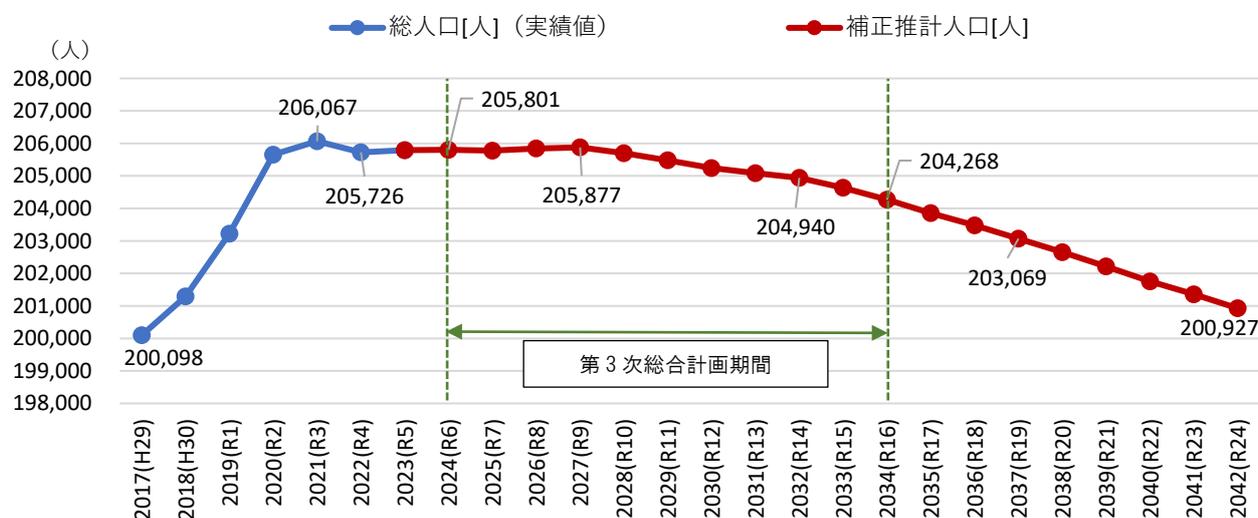
## (2) 推計方法の概要

- ・人口増減の要因には、出生・死亡による自然動態と、転入・転出による社会動態があり、地域の特性或社会経済環境などの変化により人口が変動する。そのため、これまでの人口増減の要因を自然動態と社会動態に分けて整理分析し、推計に反映させることが必要となる。
- ・将来人口の推計は、全数調査を基本とする住民基本台帳データに基づき、修正コーホート要因法による推計を基本としながら、自然動態及び社会動態に関していくつかの条件を設定する。
- ・今回の推計においては、純移動率の算出基準となる直近5年間の社会増が、前回推計の移動率の算出基準となる5年間と比較して倍以上の数値となっているため、純移動率の補正を行う。

## (3) 推計結果の概要

- ・令和4（2022）年4月1日の総人口（実績）は、205,726人であり、令和9（2027）年に205,877人まで増加し続けるが、その後は緩やかに減少すると推計される。基準年から20年後の令和24（2042）年には、200,927人（対令和4年比で2.3%減、▲4,799人）になると見込まれる。

図表1-1 西東京市の将来人口推計の結果



## 2. 推計方法と対象期間

### (1) 人口推計のフロー

- ・本推計では、1 (2) に記載のとおり、修正コーホート要因法を用いる。修正コーホート要因法については、以下に示す。

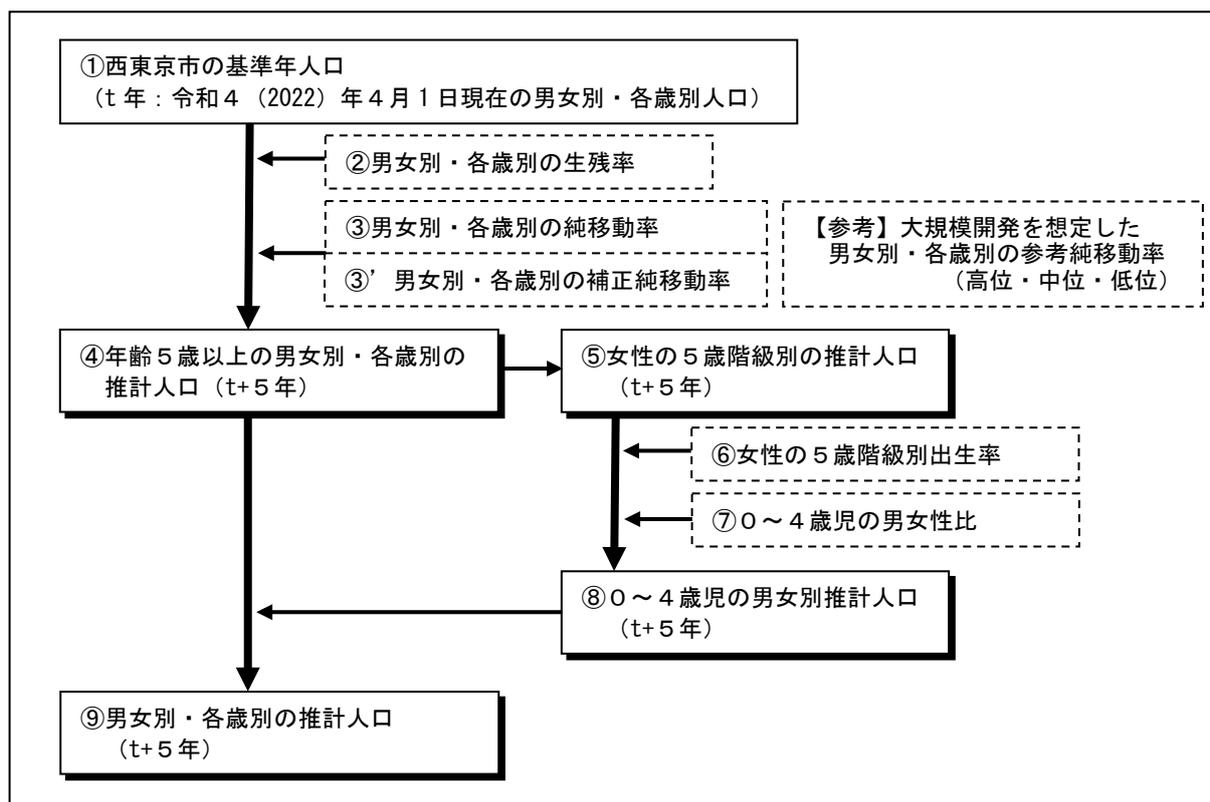
#### <修正コーホート要因法とは>

- コーホート要因法とは、ある期間において、コーホート（同じ年（又は同じ期間）に生まれた人々の集団）が、期間の始めと終わりで集団規模が変化する要因を、自然動態（出生・死亡による増減）と社会動態（転入・転出による増減）のそれぞれ要因別に分けて推計し、将来の人口を推計する方法である。
- 具体的には、人口を男女別・各歳別に区分し、別途設定された男女別・各歳別の生残率及び純移動率によって、翌年の1歳年長の人口を求め、同じ操作を繰り返すことにより、将来人口を推計する。
- 新たに出生する人口は、女性の年齢別出生率と出生性比を年齢別の女性人口に乗じて男女別出生数を求め、0歳人口を算出する。
- 推計で使用する国立社会保障・人口問題研究所が発表する生残率等の数値が国勢調査の実施年に合わせた5年間ごとの数値であることから、本推計では、コーホート要因法を推計の基準年からの5年間の推計に適合するように修正した修正コーホート要因法を利用する。
- 修正コーホート要因法により人口を推計するためには、基準年の年齢別人口のほか、西東京市における将来の男女別・各歳別の生残率、女性の5歳階級別出生率が必要だが、各数値を推計するためには、多くの副次的調査や要因分析が必要であるため、近似値として以下の数値を使用する。
  - **男女別・各歳別の生残率**：国立社会保障・人口問題研究所が発表している、西東京市の男女別・5歳階級別の将来生残率（平成30（2018）年推計）を各歳別に組み替えたもの
  - **女性の5歳階級別出生率**：国立社会保障・人口問題研究所が発表している全国の合計特殊出生率仮定値（平成30（2018）年推計）を全国と西東京市の過去の合計特殊出生率増減率で補正した値

※生残率：あるコーホート（X歳）が次のコーホート（X+5歳）になるまで生き残る確率

※純移動率：コーホートがある期において、転出・転入する社会動態の確率

図表 2-1 人口推計のフロー



## (2) 推計対象期間

- ・推計の基準年は、住民基本台帳の令和4(2022)年4月1日時点とする。
- ・推計対象期間は、令和5(2023)年から令和24(2042)年までの20年間とする。

## (3) 数値の取扱いについて

- ・推計人口(各歳)は全て小数点以下の数値を含み、一切四捨五入をしていない。また、推計人口(各歳)の合計値と整合を図るため、年齢3区分別、5歳階級別、男女別人口等を算出する際の集計後の数値についても四捨五入をしていない。ただし、精緻な推計値とするために、報告書内の表及びグラフ内の数値は、小数点第一位を四捨五入した数値としている。
- ・割合(%)及び指数は、小数点第二位を四捨五入している。このため、割合(%)の合計値が100.0%にならない場合がある。

### 3. 推計の諸条件設定

#### (1) 生残率の設定

- ・平成 27（2015）年の国勢調査結果に基づき、国立社会保障・人口問題研究所が平成 30（2018）年 3 月に公表した市区町村別推計結果より、西東京市の男女別・5 歳階級別の将来生残率仮定値を本推計に用いる。
- ・ただし、本推計では、国勢調査年とは異なる令和 4（2022）年を基準年としているため、令和 4（2022）年からの 5 か年ごとに期間を組み替えた生残率を用いて推計する。すなわち、令和 4（2022）年～令和 7（2025）年は、5 年の期間の生残率の 1/5 乗を推計期間分（3 年分）乗じて算出する。

図表 3-1 西東京市 男性の 5 歳階級別生残率仮定値

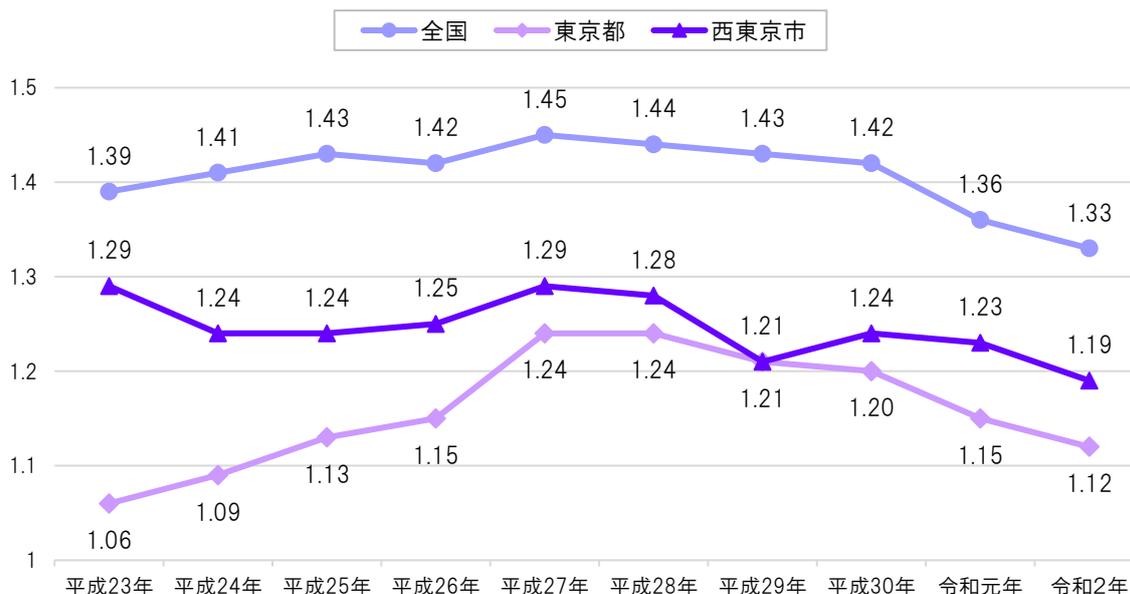
期首年齢→期末年齢	生残率・男						生残率・女					
	2015年→ 2020年	2020年→ 2025年	2025年→ 2030年	2030年→ 2035年	2035年→ 2040年	2040年→ 2045年	2015年→ 2020年	2020年→ 2025年	2025年→ 2030年	2030年→ 2035年	2035年→ 2040年	2040年→ 2045年
0～4歳 → 5～9歳	0.99933	0.99941	0.99947	0.99952	0.99957	0.99960	0.99947	0.99952	0.99956	0.99960	0.99963	0.99965
5～9歳 → 10～14歳	0.99956	0.99960	0.99964	0.99967	0.99970	0.99973	0.99973	0.99975	0.99977	0.99979	0.99980	0.99982
10～14歳 → 15～19歳	0.99930	0.99936	0.99942	0.99945	0.99949	0.99952	0.99957	0.99960	0.99962	0.99965	0.99966	0.99968
15～19歳 → 20～24歳	0.99839	0.99847	0.99854	0.99860	0.99865	0.99868	0.99918	0.99922	0.99926	0.99929	0.99932	0.99934
20～24歳 → 25～29歳	0.99777	0.99782	0.99787	0.99790	0.99792	0.99794	0.99892	0.99896	0.99901	0.99905	0.99908	0.99911
25～29歳 → 30～34歳	0.99764	0.99771	0.99776	0.99781	0.99785	0.99787	0.99862	0.99869	0.99874	0.99879	0.99883	0.99887
30～34歳 → 35～39歳	0.99700	0.99713	0.99724	0.99732	0.99739	0.99745	0.99818	0.99827	0.99835	0.99841	0.99847	0.99851
35～39歳 → 40～44歳	0.99549	0.99570	0.99590	0.99607	0.99621	0.99632	0.99714	0.99728	0.99741	0.99752	0.99762	0.99770
40～44歳 → 45～49歳	0.99249	0.99289	0.99324	0.99355	0.99381	0.99403	0.99566	0.99588	0.99608	0.99626	0.99640	0.99653
45～49歳 → 50～54歳	0.98769	0.98835	0.98895	0.98946	0.98990	0.99029	0.99291	0.99331	0.99366	0.99396	0.99423	0.99447
50～54歳 → 55～59歳	0.97983	0.98091	0.98187	0.98272	0.98347	0.98413	0.98937	0.98994	0.99046	0.99091	0.99132	0.99168
55～59歳 → 60～64歳	0.96678	0.96864	0.97029	0.97175	0.97305	0.97421	0.98502	0.98587	0.98662	0.98728	0.98786	0.98837
60～64歳 → 65～69歳	0.95385	0.95667	0.95920	0.96148	0.96352	0.96538	0.98044	0.98175	0.98290	0.98391	0.98481	0.98561
65～69歳 → 70～74歳	0.93230	0.93632	0.93990	0.94312	0.94603	0.94869	0.97035	0.97232	0.97402	0.97550	0.97680	0.97795
70～74歳 → 75～79歳	0.89790	0.90425	0.90961	0.91427	0.91838	0.92202	0.94767	0.95141	0.95454	0.95720	0.95949	0.96147
75～79歳 → 80～84歳	0.81616	0.82689	0.83617	0.84421	0.85120	0.85730	0.89957	0.90694	0.91321	0.91858	0.92319	0.92717
80～84歳 → 85～89歳	0.67097	0.68585	0.69907	0.71085	0.72138	0.73080	0.81243	0.82583	0.83736	0.84742	0.85622	0.86397
85歳以上 → 90歳以上	0.38116	0.39268	0.40295	0.41228	0.42077	0.42852	0.50312	0.51638	0.52813	0.53870	0.54822	0.55684

（出典）国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成 30（2018）年推計）」

## (2) 女性の5歳階級別の出生率の設定

- ・国勢調査に基づき国立社会保障・人口問題研究所が平成29（2017）年に推計した、全国の合計特殊出生率仮定値を基本として、令和2（2020）年の本市の合計特殊出生率に全国の合計特殊出生率仮定値（中位）の増減率の補正值を乗じた値を、本市の将来の合計特殊出生率仮定値として用いる。
- ・女性の5歳階級別出生率は、令和2（2020）年時点における本市の母親の年齢階級別出生率に準じるものとする。

図表3-2 合計特殊出生率の推移の比較



(出典) 全国は厚生労働省「人口動態統計調査」、東京都及び西東京市は東京都福祉保健局「人口動態統計年報」（各年）を基に作成

※合計特殊出生率は、出生率計算の際の分母の人口数を、出産可能年齢（15～49歳）の女性に限定し、年齢ごとの出生率を足し合わせ、一人の女性が生涯、何人の子どもを産むのかを推計したものの。

図表3-3 西東京市の母の年齢階級別出生率構成比

	母の年齢階級別 出生数（人） （令和2年）	令和2年4月1日 現在の女性人口 （人）	母親の 年齢階級別 出生率	構成比（%）
総数	1,389	44,598	0.22702	100.00
15～19歳	3	4,552	0.00066	0.29
20～24歳	55	5,942	0.00926	4.08
25～29歳	297	5,813	0.05109	22.51
30～34歳	558	5,873	0.09501	41.85
35～39歳	387	6,570	0.05890	25.95
40～44歳	86	7,323	0.01174	5.17
45～49歳	3	8,525	0.00035	0.16

(出典) 東京都福祉保健局「人口動態統計年報（令和2年）」、西東京市「住民基本台帳（令和2年4月1日）」を基に作成

※母の年齢階級別の数値は各歳別出生率を合計したものであり、算出に用いた出生数の15歳及び49歳にはそれぞれ14歳以下、50歳以上を含む。

### (3) 男女別出生性比の設定

- ・平成30(2018)年度から令和2(2020)年度までの本市における新生児の出生性比が、将来も続くものと仮定する。

図表3-4 西東京市新生児数と出生性比

		新生児数			出生性比 (女児/男児)
		男児	女児	合計	
平成30年度	2018	714	713	1,427	99.9
令和元年度	2019	716	716	1,432	100.0
令和2年度	2020	713	676	1,389	94.8
出生性比平均					98.2

(出典) 東京都福祉保健局「人口動態統計年報」(各年)を基に作成

#### (4) 純移動率の設定

##### ①純移動率について

- ・社会動態による人口増減は、期首人口に純移動率を乗じることにより算出する。
- ・純移動率は、推計の基準年である令和4（2022）年までの直近5年間における5歳階級別の社会動態を基準に算出するものとする。

##### <純移動率の算定式>

純移動率

= 純移動数 / 封鎖人口（期首から期末までに転入・転出がなかった場合の人口）

令和4年までの5年間の純移動数

= 令和4年実人口 - (平成29年実人口 × 5年間生残率)

- ・社会動態は、大きな環境変化があった場合、短期間かつ大幅に変動する。直近5年間の環境変化を見ると、本市では7件の大規模住宅開発（100戸以上の集合住宅）があり、人口の受け皿が一気に増えたことによる転入増が見られる。
- ・社会動態を基準に算出した純移動率には、大規模住宅開発による影響を受けての転入が含まれることから、本推計では、平成29（2017）年度から令和3（2021）年度までの大規模住宅開発により転入した人口を控除した上で、純移動率を求める。なお、今回の推計では、令和4（2022）年から令和5（2023）年に大規模住宅開発の見込みがないため、入居者モデルの設定は行わない。

図表3-5 平成29年度から令和3年度までの大規模住宅開発

項番	行政区	戸数
1	ひばりが丘3丁目	343
2	ひばりが丘3丁目	206
3	谷戸町2丁目	270
4	ひばりが丘3丁目	141
5	田無町4丁目	170
6	東町3丁目	153
7	下保谷5丁目	144

※項番7は独身寮

西東京市資料より作成

図表 3-6 平成 29 年度から令和 3 年度までの大規模住宅開発による転入・転居の状況

	転入		転居	
	人数	世帯数	人数	世帯数
総数	2,772	1,051	860	333
平均世帯人員	2.64		2.58	

転入率	76.3%
-----	-------

転入数の男女別・5歳階級別内訳

男性	構成比 (%)	転入数 (人)	女性	構成比 (%)	転入数 (人)
0～4歳	20.3%	276	0～4歳	16.9%	239
5～9歳	7.4%	101	5～9歳	8.7%	123
10～14歳	1.8%	25	10～14歳	2.2%	31
15～19歳	1.8%	25	15～19歳	1.4%	20
20～24歳	3.4%	46	20～24歳	3.4%	48
25～29歳	3.2%	44	25～29歳	3.4%	48
30～34歳	11.1%	151	30～34歳	13.4%	189
35～39歳	16.6%	226	35～39歳	16.4%	232
40～44歳	12.0%	163	40～44歳	10.9%	154
45～49歳	7.2%	98	45～49歳	5.5%	78
50～54歳	4.3%	58	50～54歳	4.3%	61
55～59歳	3.0%	41	55～59歳	3.9%	55
60～64歳	2.8%	38	60～64歳	2.9%	41
65～69歳	0.9%	12	65～69歳	1.3%	19
70～74歳	1.9%	26	70～74歳	2.4%	34
75～79歳	0.8%	11	75～79歳	1.3%	18
80～84歳	0.7%	9	80～84歳	0.8%	12
85～89歳	0.6%	8	85～89歳	0.5%	7
90歳以上	0.1%	2	90歳以上	0.2%	3
総数	100.0%	1,360	総数	100.0%	1,412

	男性	女性
男女比	49.1%	50.9%

西東京市資料より作成

図表3-7 男女別・各歳別の純移動率（左：男性、右：女性）

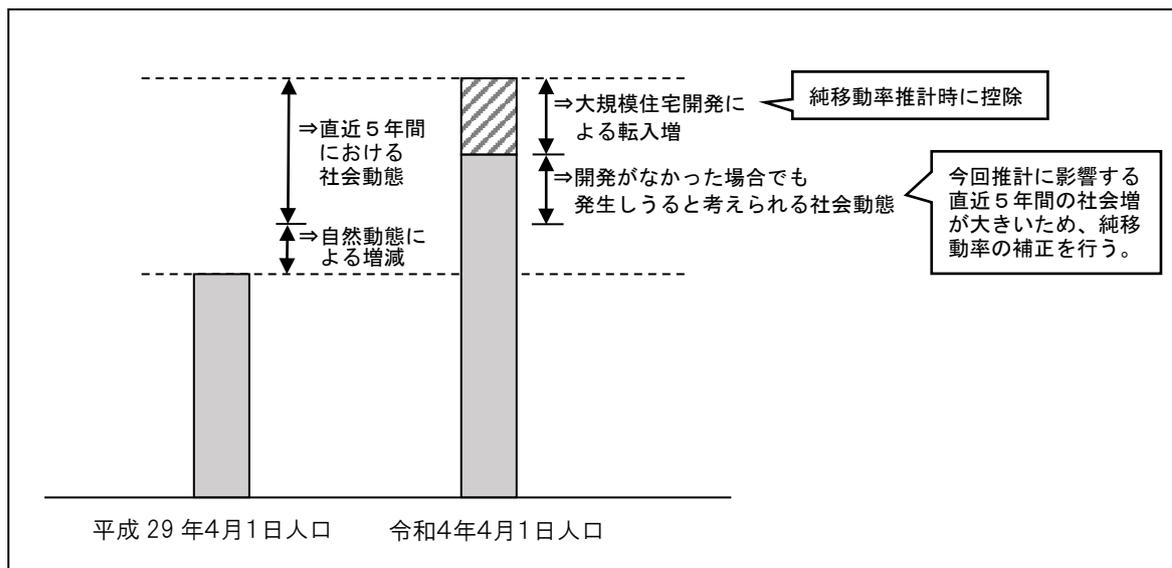
期首・前年 年齢	期末・本年 年齢	平成29年～ 令和4年 純移動数	大規模 住宅開発に よる転入数	大規模住宅開発 による転入を 除く純移動数	純移動率
出生	0	686	39	647	
出生	1	29	39	▲10	▲0.01385
出生	2	43	39	4	0.00576
出生	3	58	39	19	0.02480
出生	4	120	39	81	0.11416
0	5	111	39	72	0.09482
1	6	70	39	31	0.03571
2	7	81	20	61	0.07413
3	8	58	20	38	0.04546
4	9	49	20	29	0.03473
5	10	40	20	20	0.02377
6	11	49	20	29	0.03309
7	12	17	5	12	0.01485
8	13	19	5	14	0.01625
9	14	33	5	28	0.03314
10	15	47	5	42	0.05041
11	16	43	5	38	0.04502
12	17	49	5	44	0.05303
13	18	89	5	84	0.09944
14	19	140	5	135	0.15254
15	20	163	5	158	0.17947
16	21	180	5	175	0.19330
17	22	276	9	267	0.29244
18	23	176	9	167	0.16987
19	24	94	9	85	0.07675
20	25	38	9	29	0.02464
21	26	▲48	9	▲27	▲0.02462
22	27	▲75	9	▲84	▲0.07045
23	28	▲77	9	▲86	▲0.07575
24	29	▲42	9	▲51	▲0.04475
25	30	▲63	9	▲72	▲0.06332
26	31	▲19	9	▲28	▲0.02494
27	32	45	30	15	0.01345
28	33	54	30	24	0.02128
29	34	102	30	72	0.06300
30	35	116	30	86	0.07115
31	36	60	30	30	0.02659
32	37	46	45	1	0.00653
33	38	110	45	65	0.05031
34	39	146	45	101	0.08218
35	40	118	45	73	0.05748
36	41	120	45	75	0.05744
37	42	77	33	44	0.03094
38	43	98	33	65	0.04645
39	44	63	33	30	0.02092
40	45	68	33	35	0.02351
41	46	73	33	40	0.02644
42	47	53	20	33	0.02008
43	48	42	20	22	0.01348
44	49	21	20	1	0.00033
45	50	72	20	52	0.03011
46	51	38	20	18	0.01095
47	52	35	12	23	0.01403
48	53	55	12	43	0.02514
49	54	38	12	26	0.01583
50	55	45	12	33	0.02215
51	56	21	12	9	0.00567
52	57	▲9	8	▲17	▲0.01013
53	58	27	8	19	0.01358
54	59	4	8	▲4	▲0.00266
55	60	▲1	8	▲9	▲0.00689
56	61	35	8	27	0.02151
57	62	22	8	14	0.01186
58	63	5	8	▲3	▲0.00276
59	64	▲23	8	▲31	▲0.02808
60	65	6	8	▲2	▲0.00206
61	66	1	8	▲7	▲0.00690
62	67	14	2	12	0.01201
63	68	8	2	6	0.00575
64	69	▲24	2	▲26	▲0.02548
65	70	▲4	2	▲6	▲0.00579
66	71	▲15	2	▲17	▲0.01489
67	72	▲27	5	▲32	▲0.02613
68	73	▲28	5	▲33	▲0.02710
69	74	▲36	5	▲41	▲0.03107
70	75	▲26	5	▲31	▲0.03511
71	76	8	5	3	0.00444
72	77	▲33	2	▲35	▲0.04319
73	78	▲28	2	▲30	▲0.03717
74	79	▲24	2	▲26	▲0.03252
75	80	14	2	12	0.01572
76	81	▲3	2	▲5	▲0.00787
77	82	▲16	2	▲18	▲0.03089
78	83	▲10	2	▲12	▲0.02041
79	84	▲29	2	▲31	▲0.05275
80	85	73	2	71	0.14859
81	86	33	2	31	0.06557
82	87	31	2	29	0.06924
83	88	0	2	▲2	▲0.00444
84	89	▲33	2	▲35	▲0.09655
85歳以上	90歳以上	105	2	103	0.10778

期首・前年 年齢	期末・本年 年齢	平成29年～ 令和4年 純移動数	大規模 住宅開発に よる転入数	大規模住宅開発 による転入を 除く純移動数	純移動率
出生	0	637	34	603	
出生	1	32	34	▲2	▲0.00282
出生	2	66	34	32	0.04368
出生	3	85	34	51	0.07165
出生	4	89	34	55	0.07845
0	5	105	34	71	0.09423
1	6	58	34	24	0.02920
2	7	66	25	41	0.05310
3	8	46	25	21	0.02787
4	9	48	25	23	0.03119
5	10	44	25	19	0.02352
6	11	31	25	6	0.00708
7	12	27	6	21	0.02572
8	13	60	6	54	0.06510
9	14	40	6	34	0.04320
10	15	53	6	47	0.05994
11	16	39	6	33	0.04291
12	17	33	4	29	0.03593
13	18	85	4	81	0.09564
14	19	132	4	128	0.15250
15	20	151	4	147	0.17791
16	21	209	4	205	0.23149
17	22	286	10	276	0.32650
18	23	267	10	257	0.26304
19	24	154	10	144	0.14507
20	25	128	10	118	0.11208
21	26	▲44	10	▲54	▲0.04657
22	27	▲15	10	▲25	▲0.02120
23	28	▲44	10	▲54	▲0.04478
24	29	▲27	10	▲37	▲0.03466
25	30	29	10	19	0.01638
26	31	37	10	27	0.02329
27	32	82	38	44	0.04046
28	33	53	38	15	0.01412
29	34	102	38	64	0.05870
30	35	122	38	84	0.07687
31	36	98	38	60	0.05149
32	37	113	46	67	0.05720
33	38	134	46	88	0.07449
34	39	153	46	107	0.08513
35	40	83	46	37	0.02858
36	41	109	46	63	0.05157
37	42	63	31	32	0.02434
38	43	68	31	37	0.02643
39	44	68	31	37	0.02544
40	45	98	31	67	0.04799
41	46	114	31	83	0.05638
42	47	55	16	39	0.02404
43	48	67	16	51	0.03134
44	49	38	16	22	0.01294
45	50	86	16	70	0.04181
46	51	90	16	74	0.04436
47	52	50	12	38	0.02422
48	53	48	12	36	0.02217
49	54	43	12	31	0.01838
50	55	20	12	8	0.00548
51	56	17	12	5	0.00320
52	57	39	11	28	0.01941
53	58	39	11	28	0.01970
54	59	33	11	22	0.01643
55	60	31	11	20	0.01654
56	61	▲3	11	▲14	▲0.01084
57	62	19	8	11	0.00850
58	63	▲14	8	▲22	▲0.01938
59	64	10	8	2	0.00169
60	65	9	8	1	0.00103
61	66	▲26	8	▲34	▲0.03101
62	67	20	4	16	0.01638
63	68	▲36	4	▲40	▲0.03748
64	69	3	4	▲1	▲0.00105
65	70	14	4	10	0.00912
66	71	16	4	12	0.00972
67	72	3	7	▲4	▲0.00285
68	73	25	7	18	0.01271
69	74	18	7	11	0.00742
70	75	37	7	30	0.02927
71	76	5	7	▲2	▲0.00279
72	77	10	4	6	0.00558
73	78	11	4	7	0.00639
74	79	▲24	4	▲28	▲0.02445
75	80	37	4	33	0.03003
76	81	22	4	18	0.01807
77	82	13	2	11	0.01260
78	83	▲10	2	▲12	▲0.01393
79	84	▲28	2	▲30	▲0.03100
80	85	33	2	31	0.03750
81	86	20	2	18	0.02103
82	87	▲32	1	▲33	▲0.04231
83	88	5	1	4	0.00542
84	89	▲46	1	▲47	▲0.06670
85歳以上	90歳以上	165	1	164	0.06459

## ②純移動率の補正について

- ・純移動率は、推計の基準年である令和4（2022）年までの直近5年間における社会動態を基準に算出したものであるが、この5年間の動きによって、将来の社会動態による人口増減が決められるため、大規模住宅開発がなかった場合でも発生し得ると考えられる社会動態が今後も維持されるかどうか検証する。
- ・今回の推計における純移動率の算出基準となる平成29（2017）年から令和3（2021）年までの5年間における社会増を見ると、近年と比較すると高い水準を維持しており、前回推計の算出基準となる5年間（平成24（2012）年から平成28（2016）年まで）の約2.5倍となっている。また、純移動率を求める場合と同様に、大規模住宅開発による転入者を除いても、前回推計の2倍以上となっている。
- ・よって、将来の社会動態による人口増減を算定するために、直近5年間の社会動態から求める純移動率を用いることは、社会増の影響が強くなることが予測されるため、純移動率の補正を行う。
- ・なお、直近5年間の本市における社会増を押し上げた要因としては、宅地化の進行が考えられる。

図表3-8 純移動率の補正の考え方



### ③補正純移動率の設定について

- ・本推計では、将来の社会動態による人口増減を算定するための純移動率について、平成 29（2017）年度から令和 3（2021）年度における大規模住宅開発により転入した人口を控除した上で、さらに、大規模住宅開発がなかった場合でも発生しうる社会動態（社会増）を一定程度補正し、補正純移動率を求める。
- ・社会動態（社会増）の補正に当たり、以下の点を考慮しつつ、5年単位で将来の社会動態を仮定する。
- ・今後の宅地化の動向については、本市における生産緑地は、鉄道駅の徒歩圏での利便性が高く、開発圧力が高いと考えられるエリアにおいても分布が見られるため、令和 4（2022）年以降の生産緑地の指定解除などの動きも踏まえ、今後もさらに宅地化が進むことが想定される。一方で、引き続き特定生産緑地（10年延期）として指定する動きも見られるため、宅地化の進行は一定期間後、緩やかになると仮定する。
- ・宅地化に伴い、住宅開発が見込まれることから、住宅開発に伴う社会増も一定期間後、緩やかになると仮定する。
- ・上記の仮定及び国立社会保障・人口問題研究所が平成 30（2018）年 3月に公表した市区町村別推計結果を踏まえ、将来の社会動態（社会増）の補正として、最初の 5年間は、直近 5年間の社会動態を維持した後、次の 5年間は社会動態（社会増）が減少、その次の 5年間は社会動態（社会増）がさらに減少し、その後はそのまま持続すると仮定して、補正純移動率を求める。

### ④参考推計の実施について

- ・算定した補正純移動率は、今後、大規模住宅開発が起こらない想定であるため、参考として、将来の大規模住宅開発について、以下 3パターンの見込みに基づく推計も実施する。

高位：推計期間においては、過去 5年間ににおける大規模住宅開発の 50%程度の規模での開発が続く。

中位：推計期間においては、過去 5年間ににおける大規模住宅開発の 30%程度の規模での開発が続く。

低位：推計期間においては、過去 5年間ににおける大規模住宅開発の 10%程度の規模での開発が続く。

### （5）推計期間に見込まれる大規模住宅開発による転入数の調整

- ・本推計では、現時点で、令和 4（2022）年から令和 5（2023）年までに大規模住宅開発による人口増加が見込まれないため、転入数の調整を行わない。

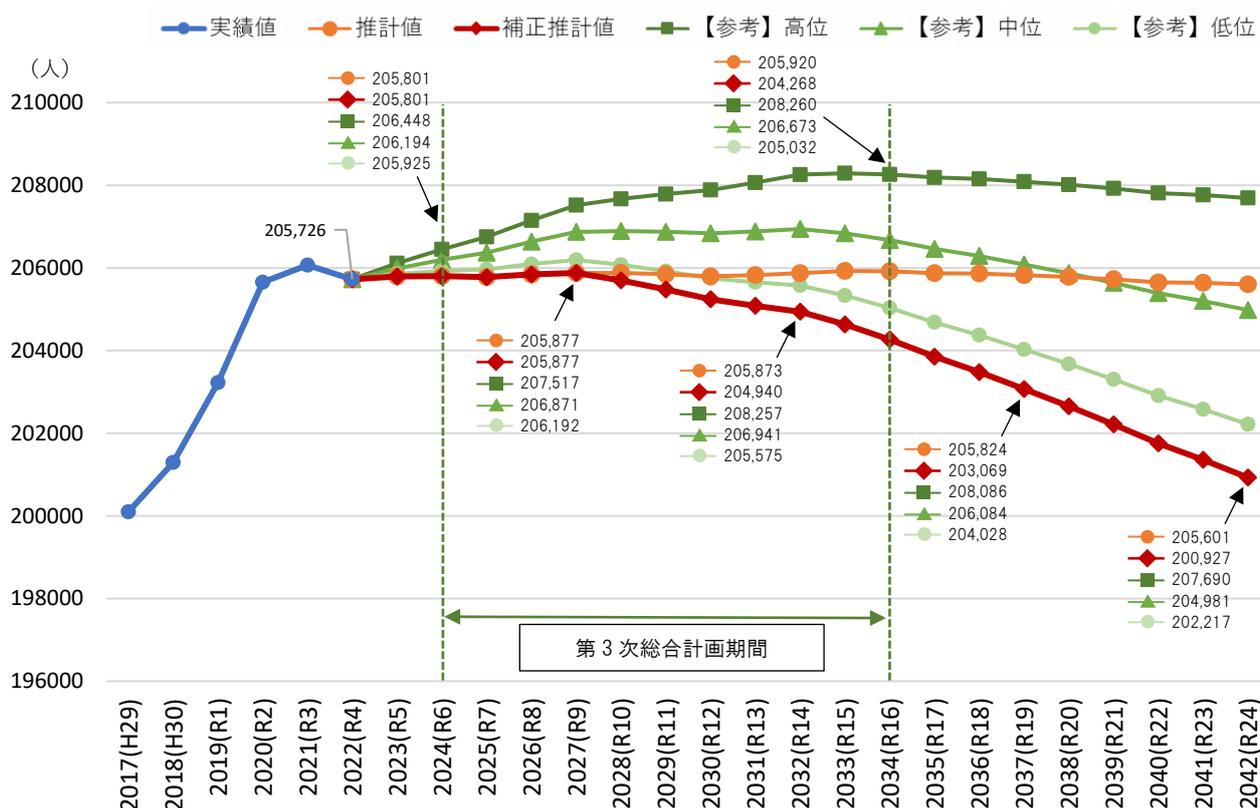
## 4. 推計結果

- ・今回の人口推計では、直近5年間の社会動態から算定した純移動率を用いた推計と、直近5年間における大幅な社会増を補正して算定した補正純移動率を用いた推計を行った。推計結果としては補正純移動率を用いた補正推計を採用する。
- ・参考推計である「高位推計」「中位推計」「低位推計」は補正推計を基準としている。

### (1) 総人口

- ・令和4（2022）年4月1日の総人口（実績）は205,726人であり、令和9（2027）年に205,877人まで増加し続けるが、その後は緩やかに減少すると推計される。基準年から20年後の令和24（2042）年には、200,927人（対令和4年比で2.3%減、▲4,799人）になると見込まれる。
- ・過去5年間の大規模住宅開発が50%程度続くと仮定した場合の「高位推計」では、令和15（2033）年の208,289人をピークとして、その後緩やかな減少が続き、令和24（2042）年には207,690人（同1.0%増、+1,964人）になると見込まれる。
- ・同じく大規模住宅開発が30%程度続くと仮定した場合の「中位推計」では、令和14（2032）年の206,941人をピークとして、その後緩やかな減少が続き、令和24（2042）年には204,981人（同0.4%減、▲745人）になると見込まれる。
- ・同じく大規模住宅開発が10%程度続くと仮定した場合の「低位推計」では、令和9（2027）年の206,192人をピークとして、その後緩やかな減少が続き、令和24（2042）年には202,217人（同1.7%減、▲3,509人）になると見込まれる。

図表4-1 総人口の推計結果



	平成29年 (2017)	平成30年 (2018)	平成31年 (2019)	令和2年 (2020)	令和3年 (2021)	令和4年 (2022)				
実績値	200,098	201,292	203,222	205,653	206,067	205,726				
	令和5年 (2023)	令和6年 (2024)	令和7年 (2025)	令和8年 (2026)	令和9年 (2027)	令和10年 (2028)	令和11年 (2029)	令和12年 (2030)	令和13年 (2031)	令和14年 (2032)
推計値	205,792	205,801	205,776	205,843	205,877	205,880	205,846	205,796	205,826	205,873
補正推計値	205,792	205,801	205,776	205,843	205,877	205,697	205,479	205,242	205,084	204,940
【参考】高位	206,114	206,448	206,751	207,149	207,517	207,670	207,786	207,884	208,063	208,257
【参考】中位	205,988	206,194	206,369	206,636	206,871	206,892	206,874	206,838	206,883	206,941
【参考】低位	205,854	205,925	205,964	206,093	206,192	206,075	205,921	205,748	205,654	205,575
	令和15年 (2033)	令和16年 (2034)	令和17年 (2035)	令和18年 (2036)	令和19年 (2037)	令和20年 (2038)	令和21年 (2039)	令和22年 (2040)	令和23年 (2041)	令和24年 (2042)
推計値	205,925	205,920	205,872	205,864	205,824	205,783	205,724	205,649	205,639	205,601
補正推計値	204,635	204,268	203,854	203,479	203,069	202,652	202,213	201,754	201,356	200,927
【参考】高位	208,289	208,260	208,186	208,153	208,086	208,014	207,922	207,811	207,765	207,690
【参考】中位	206,837	206,673	206,461	206,290	206,084	205,873	205,640	205,388	205,200	204,981
【参考】低位	205,334	205,032	204,683	204,372	204,028	203,677	203,304	202,910	202,579	202,217

(人)

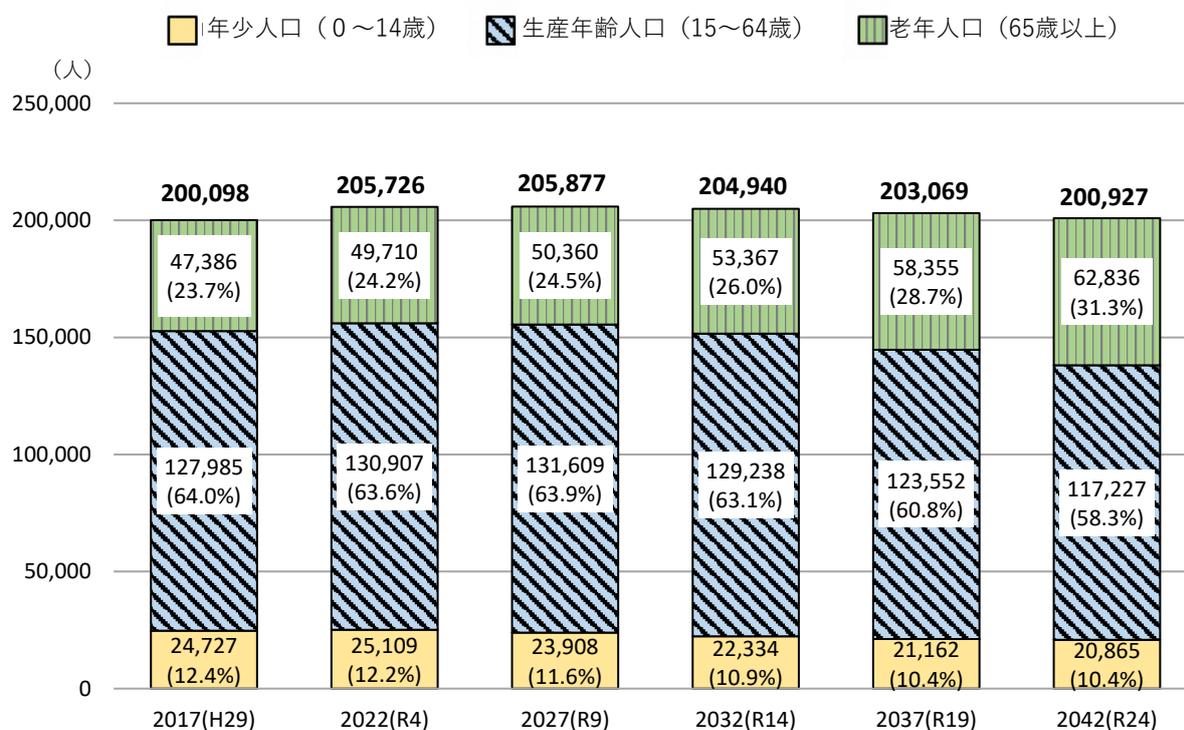
## 令和4年人口を100とした場合の指数

	令和5年 (2023)	令和6年 (2024)	令和7年 (2025)	令和8年 (2026)	令和9年 (2027)	令和10年 (2028)	令和11年 (2029)	令和12年 (2030)	令和13年 (2031)	令和14年 (2032)
推計値	100.0	100.0	100.0	100.1	100.1	100.1	100.1	100.0	100.0	100.1
補正推計値	100.0	100.0	100.0	100.1	100.1	100.0	99.9	99.8	99.7	99.6
【参考】高位	100.2	100.4	100.5	100.7	100.9	100.9	101.0	101.0	101.1	101.2
【参考】中位	100.1	100.2	100.3	100.4	100.6	100.6	100.6	100.5	100.6	100.6
【参考】低位	100.1	100.1	100.1	100.2	100.2	100.2	100.1	100.0	100.0	99.9
	令和15年 (2033)	令和16年 (2034)	令和17年 (2035)	令和18年 (2036)	令和19年 (2037)	令和20年 (2038)	令和21年 (2039)	令和22年 (2040)	令和23年 (2041)	令和24年 (2042)
推計値	100.1	100.1	100.1	100.1	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	99.9
補正推計値	99.5	99.3	99.1	98.9	98.7	98.5	98.3	98.1	97.9	97.7
【参考】高位	101.2	101.2	101.2	101.2	101.1	101.1	101.1	101.0	101.0	101.0
【参考】中位	100.5	100.5	100.4	100.3	100.2	100.1	100.0	99.8	99.7	99.6
【参考】低位	99.8	99.7	99.5	99.3	99.2	99.0	98.8	98.6	98.5	98.3

## (2) 年齢3区分別人口

- ・年齢3区分別に見ると、年少人口（0～14歳）は、令和4（2022）年には25,109人と総人口の12.2%を占めているが、令和24（2042）年には20,865人（構成比10.4%）に減少すると見込まれ、総人口に占める割合は、令和4（2022）年に比べ1.8ポイント減となっている。
- ・生産年齢人口（15～64歳）は、令和4（2022）年には130,907人と総人口の63.6%を占めているが、令和24（2042）年には117,227人（構成比58.3%）に減少すると見込まれ、総人口に占める割合は、令和4（2022）年に比べ5.3ポイント減となっている。
- ・老年人口（65歳以上）は、令和4（2022）年には49,710人と総人口の24.2%を占めているが、令和24（2042）年には62,836人（構成比31.3%）に増加すると見込まれ、総人口に占める割合は、令和4（2022）年に比べ7.1ポイント増となっている。

図表4-2 年齢3区分別人口の推計結果



実績値	平成29年 (2017)	平成30年 (2018)	平成31年 (2019)	令和2年 (2020)	令和3年 (2021)	令和4年 (2022)				
総数	200,098	201,292	203,222	205,653	206,067	205,726				
年少人口	24,727	24,785	24,937	25,204	25,215	25,109				
生産年齢人口	127,985	128,573	129,906	131,544	131,520	130,907				
老年人口	47,386	47,934	48,379	48,905	49,332	49,710				
うち74歳以下	22,895	22,775	22,536	22,503	22,943	22,932				
うち75歳以上	24,491	25,159	25,843	26,402	26,389	26,778				
	(人)									
補正推計値	令和5年 (2023)	令和6年 (2024)	令和7年 (2025)	令和8年 (2026)	令和9年 (2027)	令和10年 (2028)	令和11年 (2029)	令和12年 (2030)	令和13年 (2031)	令和14年 (2032)
総数	205,792	205,801	205,776	205,843	205,877	205,697	205,479	205,242	205,084	204,940
年少人口	24,960	24,700	24,519	24,174	23,908	23,684	23,421	23,105	22,682	22,334
生産年齢人口	131,243	131,538	131,541	131,612	131,609	131,221	130,769	130,105	129,647	129,238
老年人口	49,589	49,563	49,716	50,057	50,360	50,793	51,289	52,033	52,756	53,367
うち74歳以下	22,027	21,449	21,127	21,214	21,451	21,890	22,543	23,453	24,239	24,846
うち75歳以上	27,563	28,113	28,589	28,843	28,909	28,903	28,746	28,579	28,517	28,522
補正推計値	令和15年 (2033)	令和16年 (2034)	令和17年 (2035)	令和18年 (2036)	令和19年 (2037)	令和20年 (2038)	令和21年 (2039)	令和22年 (2040)	令和23年 (2041)	令和24年 (2042)
総数	204,635	204,268	203,854	203,479	203,069	202,652	202,213	201,754	201,356	200,927
年少人口	22,037	21,693	21,394	21,193	21,162	21,086	21,028	20,966	20,909	20,865
生産年齢人口	128,192	127,146	126,193	125,041	123,552	122,151	120,826	119,480	118,305	117,227
老年人口	54,406	55,429	56,268	57,245	58,355	59,415	60,359	61,309	62,142	62,836
うち74歳以下	25,917	26,923	27,601	28,305	29,197	29,889	30,378	30,631	30,785	30,932
うち75歳以上	28,489	28,507	28,668	28,939	29,157	29,525	29,981	30,678	31,358	31,904

年齢3区分別人口構成比

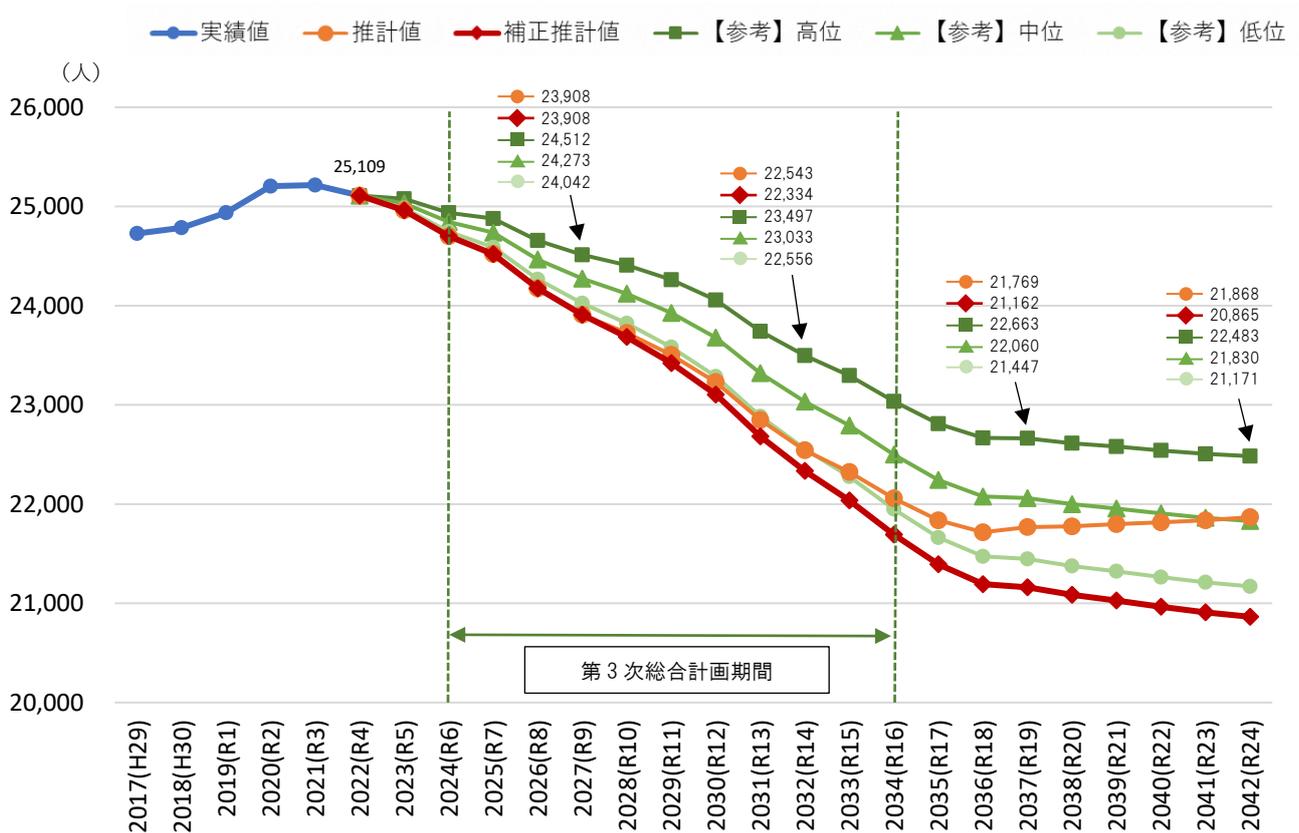
実績値	平成29年 (2017)	平成30年 (2018)	平成31年 (2019)	令和2年 (2020)	令和3年 (2021)	令和4年 (2022)				
年少人口	12.4	12.3	12.3	12.3	12.2	12.2				
生産年齢人口	64.0	63.9	63.9	64.0	63.8	63.6				
老年人口	23.7	23.8	23.8	23.8	23.9	24.2				
うち74歳以下	11.4	11.3	11.1	10.9	11.1	11.1				
うち75歳以上	12.2	12.5	12.7	12.8	12.8	13.0				
	(%)									
補正推計値	令和5年 (2023)	令和6年 (2024)	令和7年 (2025)	令和8年 (2026)	令和9年 (2027)	令和10年 (2028)	令和11年 (2029)	令和12年 (2030)	令和13年 (2031)	令和14年 (2032)
年少人口	12.1	12.0	11.9	11.7	11.6	11.5	11.4	11.3	11.1	10.9
生産年齢人口	63.8	63.9	63.9	63.9	63.9	63.8	63.6	63.4	63.2	63.1
老年人口	24.1	24.1	24.2	24.3	24.5	24.7	25.0	25.4	25.7	26.0
うち74歳以下	10.7	10.4	10.3	10.3	10.4	10.6	11.0	11.4	11.8	12.1
うち75歳以上	13.4	13.7	13.9	14.0	14.0	14.1	14.0	13.9	13.9	13.9
補正推計値	令和15年 (2033)	令和16年 (2034)	令和17年 (2035)	令和18年 (2036)	令和19年 (2037)	令和20年 (2038)	令和21年 (2039)	令和22年 (2040)	令和23年 (2041)	令和24年 (2042)
年少人口	10.8	10.6	10.5	10.4	10.4	10.4	10.4	10.4	10.4	10.4
生産年齢人口	62.6	62.2	61.9	61.5	60.8	60.3	59.8	59.2	58.8	58.3
老年人口	26.6	27.1	27.6	28.1	28.7	29.3	29.8	30.4	30.9	31.3
うち74歳以下	12.7	13.2	13.5	13.9	14.4	14.7	15.0	15.2	15.3	15.4
うち75歳以上	13.9	14.0	14.1	14.2	14.4	14.6	14.8	15.2	15.6	15.9

※【P3】2(3)「数値の取扱いについて」に記載のとおり、表中の各項目の数値の合計と、当該項目の数値が合わない場合がある。また、割合(%)の合計値が100.0%にならない場合がある。

## 【年少人口】

- ・年少人口は、令和4（2022）年以降、一貫して減少し、令和24（2042）年には20,865人と、令和4（2022）年に比べ16.9%減少すると見込まれる。
- ・高位・中位・低位推計を見ると、令和24（2042）年の年少人口は、高位推計で22,483人と令和4（2022）年に比べ10.5%減少、中位推計で21,830人と13.1%減少、低位推計で21,171人と15.7%減少すると見込まれる。

図表4-3 年少人口の推計結果



	平成29年 (2017)	平成30年 (2018)	平成31年 (2019)	令和2年 (2020)	令和3年 (2021)	令和4年 (2022)				
実績値	24,727	24,785	24,937	25,204	25,215	25,109	(人)			
	令和5年 (2023)	令和6年 (2024)	令和7年 (2025)	令和8年 (2026)	令和9年 (2027)	令和10年 (2028)	令和11年 (2029)	令和12年 (2030)	令和13年 (2031)	令和14年 (2032)
推計値	24,960	24,700	24,519	24,174	23,908	23,725	23,504	23,229	22,848	22,543
補正推計値	24,960	24,700	24,519	24,174	23,908	23,684	23,421	23,105	22,682	22,334
【参考】高位	25,077	24,936	24,877	24,656	24,512	24,407	24,261	24,057	23,742	23,497
【参考】中位	25,031	24,843	24,736	24,465	24,273	24,120	23,927	23,678	23,319	23,033
【参考】低位	24,983	24,746	24,588	24,266	24,024	23,822	23,581	23,286	22,884	22,556
	令和15年 (2033)	令和16年 (2034)	令和17年 (2035)	令和18年 (2036)	令和19年 (2037)	令和20年 (2038)	令和21年 (2039)	令和22年 (2040)	令和23年 (2041)	令和24年 (2042)
推計値	22,323	22,058	21,837	21,716	21,769	21,775	21,798	21,816	21,837	21,868
補正推計値	22,037	21,693	21,394	21,193	21,162	21,086	21,028	20,966	20,909	20,865
【参考】高位	23,295	23,036	22,809	22,667	22,663	22,613	22,580	22,540	22,506	22,483
【参考】中位	22,792	22,499	22,243	22,076	22,060	21,999	21,955	21,906	21,862	21,830
【参考】低位	22,276	21,948	21,663	21,473	21,447	21,376	21,322	21,264	21,212	21,171

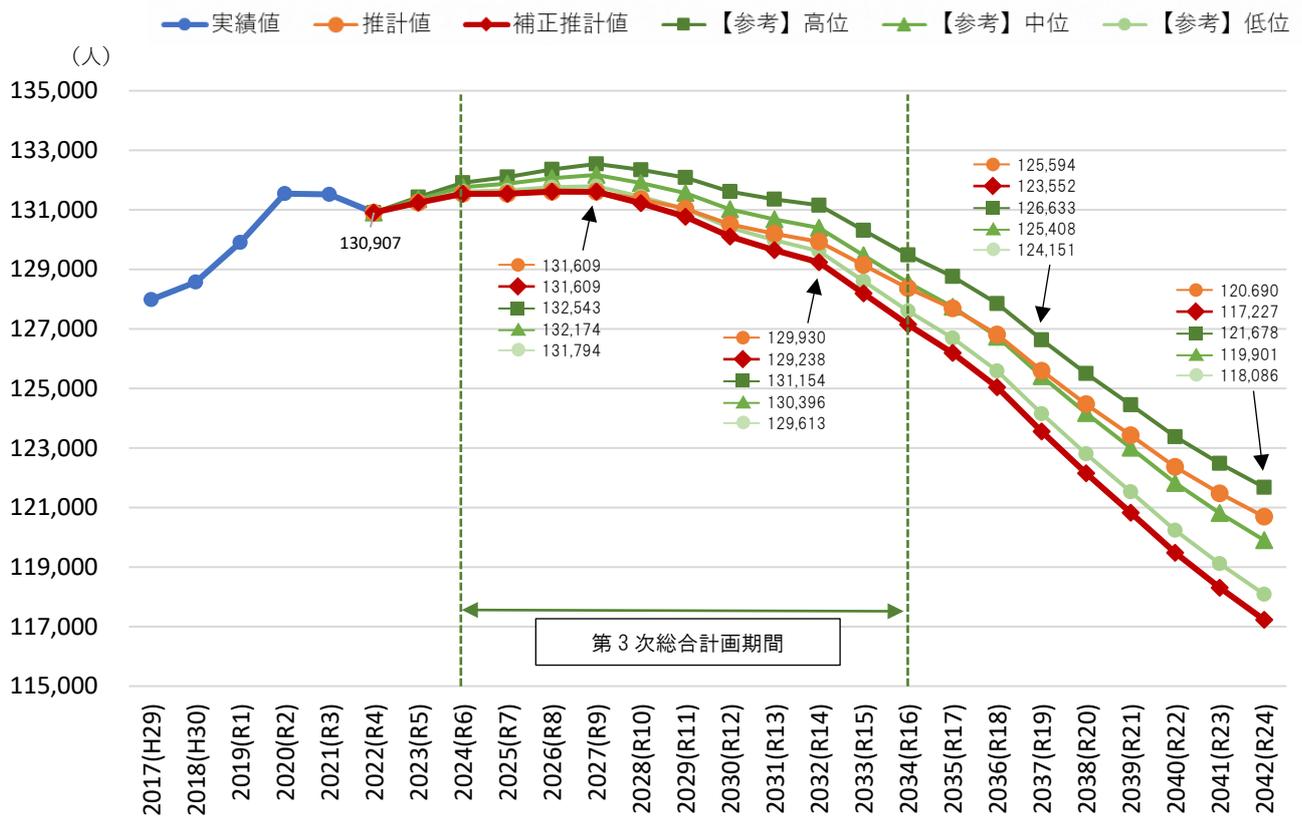
令和4年人口を100とした場合の指数

	令和5年 (2023)	令和6年 (2024)	令和7年 (2025)	令和8年 (2026)	令和9年 (2027)	令和10年 (2028)	令和11年 (2029)	令和12年 (2030)	令和13年 (2031)	令和14年 (2032)
推計値	99.4	98.4	97.7	96.3	95.2	94.5	93.6	92.5	91.0	89.8
補正推計値	99.4	98.4	97.7	96.3	95.2	94.3	93.3	92.0	90.3	88.9
【参考】高位	99.9	99.3	99.1	98.2	97.6	97.2	96.6	95.8	94.6	93.6
【参考】中位	99.7	98.9	98.5	97.4	96.7	96.1	95.3	94.3	92.9	91.7
【参考】低位	99.5	98.6	97.9	96.6	95.7	94.9	93.9	92.7	91.1	89.8
	令和15年 (2033)	令和16年 (2034)	令和17年 (2035)	令和18年 (2036)	令和19年 (2037)	令和20年 (2038)	令和21年 (2039)	令和22年 (2040)	令和23年 (2041)	令和24年 (2042)
推計値	88.9	87.8	87.0	86.5	86.7	86.7	86.8	86.9	87.0	87.1
補正推計値	87.8	86.4	85.2	84.4	84.3	84.0	83.7	83.5	83.3	83.1
【参考】高位	92.8	91.7	90.8	90.3	90.3	90.1	89.9	89.8	89.6	89.5
【参考】中位	90.8	89.6	88.6	87.9	87.9	87.6	87.4	87.2	87.1	86.9
【参考】低位	88.7	87.4	86.3	85.5	85.4	85.1	84.9	84.7	84.5	84.3

### 【生産年齢人口】

- ・生産年齢人口は、令和8（2026）年の131,612人をピークに減少傾向となり、令和24（2042）年には117,227人と、令和4（2022）年に比べ10.5%減少すると見込まれる。
- ・高位・中位・低位推計を見ると、令和24（2042）年の生産年齢人口は、高位推計で121,678人と令和4（2022）年に比べ7.0%減少、中位推計で119,901人と8.4%減少、低位推計で118,086人と9.8%減少すると見込まれる。

図表4-4 生産年齢人口の推計結果



	平成29年 (2017)	平成30年 (2018)	平成31年 (2019)	令和2年 (2020)	令和3年 (2021)	令和4年 (2022)				
実績値	127,985	128,573	129,906	131,544	131,520	130,907	(人)			
	令和5年 (2023)	令和6年 (2024)	令和7年 (2025)	令和8年 (2026)	令和9年 (2027)	令和10年 (2028)	令和11年 (2029)	令和12年 (2030)	令和13年 (2031)	令和14年 (2032)
推計値	131,243	131,538	131,541	131,612	131,609	131,353	131,036	130,512	130,195	129,930
補正推計値	131,243	131,538	131,541	131,612	131,609	131,221	130,769	130,105	129,647	129,238
【参考】高位	131,430	131,912	132,101	132,358	132,543	132,344	132,085	131,615	131,357	131,154
【参考】中位	131,356	131,764	131,880	132,063	132,174	131,901	131,565	131,018	130,680	130,396
【参考】低位	131,280	131,613	131,653	131,760	131,794	131,443	131,029	130,402	129,982	129,613
	令和15年 (2033)	令和16年 (2034)	令和17年 (2035)	令和18年 (2036)	令和19年 (2037)	令和20年 (2038)	令和21年 (2039)	令和22年 (2040)	令和23年 (2041)	令和24年 (2042)
推計値	129,147	128,370	127,688	126,810	125,594	124,471	123,428	122,364	121,477	120,690
補正推計値	128,192	127,146	126,193	125,041	123,552	122,151	120,826	119,480	118,305	117,227
【参考】高位	130,314	129,484	128,760	127,852	126,633	125,504	124,451	123,378	122,480	121,678
【参考】中位	129,473	128,557	127,741	126,735	125,408	124,170	123,007	121,824	120,814	119,901
【参考】低位	128,607	127,602	126,693	125,589	124,151	122,802	121,529	120,234	119,112	118,086

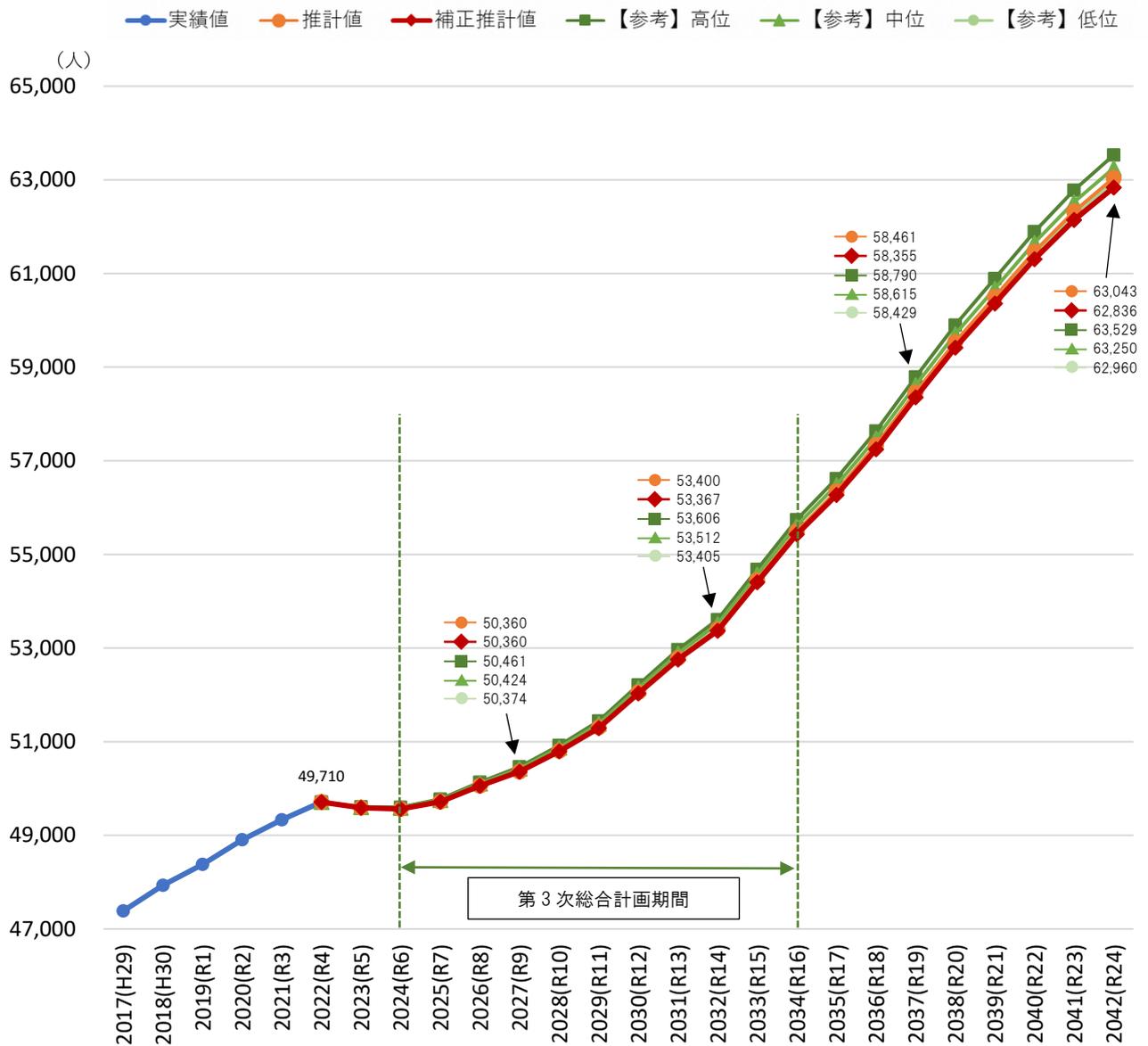
令和4年人口を100とした場合の指数

	令和5年 (2023)	令和6年 (2024)	令和7年 (2025)	令和8年 (2026)	令和9年 (2027)	令和10年 (2028)	令和11年 (2029)	令和12年 (2030)	令和13年 (2031)	令和14年 (2032)
推計値	100.3	100.5	100.5	100.5	100.5	100.3	100.1	99.7	99.5	99.3
補正推計値	100.3	100.5	100.5	100.5	100.5	100.2	99.9	99.4	99.0	98.7
【参考】高位	100.4	100.8	100.9	101.1	101.2	101.1	100.9	100.5	100.3	100.2
【参考】中位	100.3	100.7	100.7	100.9	101.0	100.8	100.5	100.1	99.8	99.6
【参考】低位	100.3	100.5	100.6	100.7	100.7	100.4	100.1	99.6	99.3	99.0
	令和15年 (2033)	令和16年 (2034)	令和17年 (2035)	令和18年 (2036)	令和19年 (2037)	令和20年 (2038)	令和21年 (2039)	令和22年 (2040)	令和23年 (2041)	令和24年 (2042)
推計値	98.7	98.1	97.5	96.9	95.9	95.1	94.3	93.5	92.8	92.2
補正推計値	97.9	97.1	96.4	95.5	94.4	93.3	92.3	91.3	90.4	89.5
【参考】高位	99.5	98.9	98.4	97.7	96.7	95.9	95.1	94.2	93.6	93.0
【参考】中位	98.9	98.2	97.6	96.8	95.8	94.9	94.0	93.1	92.3	91.6
【参考】低位	98.2	97.5	96.8	95.9	94.8	93.8	92.8	91.8	91.0	90.2

## 【老年人口】

- ・ 老年人口は、令和 6（2024）年以降は一貫して増加し続け、令和 24（2042）年には 62,836 人と、令和 4（2022）年に比べ 26.4%増加すると見込まれる。
- ・ 高位・中位・低位推計を見ると、令和 24（2042）年の老年人口は、高位推計で 63,529 人と令和 4（2022）年に比べ 27.8%増加、中位推計で 63,250 人と 27.2%増加、低位推計で 62,960 人と 26.7%増加すると見込まれる。

図表 4-5 老年人口の推計結果



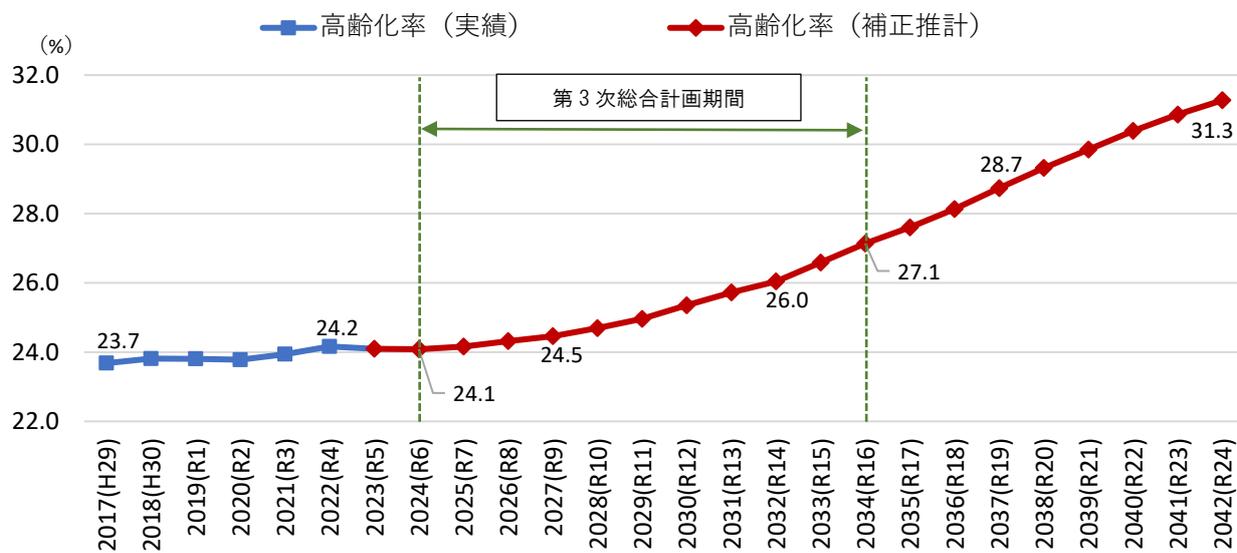
	平成29年 (2017)	平成30年 (2018)	平成31年 (2019)	令和2年 (2020)	令和3年 (2021)	令和4年 (2022)				
実績値	47,386	47,934	48,379	48,905	49,332	49,710	(人)			
	令和5年 (2023)	令和6年 (2024)	令和7年 (2025)	令和8年 (2026)	令和9年 (2027)	令和10年 (2028)	令和11年 (2029)	令和12年 (2030)	令和13年 (2031)	令和14年 (2032)
推計値	49,589	49,563	49,716	50,057	50,360	50,802	51,306	52,055	52,784	53,400
補正推計値	49,589	49,563	49,716	50,057	50,360	50,793	51,289	52,033	52,756	53,367
【参考】高位	49,607	49,599	49,773	50,135	50,461	50,918	51,440	52,212	52,965	53,606
【参考】中位	49,601	49,587	49,753	50,107	50,424	50,871	51,383	52,142	52,883	53,512
【参考】低位	49,591	49,567	49,723	50,067	50,374	50,810	51,311	52,060	52,789	53,405
	令和15年 (2033)	令和16年 (2034)	令和17年 (2035)	令和18年 (2036)	令和19年 (2037)	令和20年 (2038)	令和21年 (2039)	令和22年 (2040)	令和23年 (2041)	令和24年 (2042)
推計値	54,455	55,493	56,347	57,338	58,461	59,537	60,499	61,469	62,326	63,043
補正推計値	54,406	55,429	56,268	57,245	58,355	59,415	60,359	61,309	62,142	62,836
【参考】高位	54,680	55,741	56,617	57,635	58,790	59,898	60,891	61,893	62,780	63,529
【参考】中位	54,571	55,617	56,478	57,478	58,615	59,704	60,678	61,658	62,524	63,250
【参考】低位	54,451	55,481	56,327	57,310	58,429	59,498	60,452	61,412	62,256	62,960

令和4年人口を100とした場合の指数

	令和5年 (2023)	令和6年 (2024)	令和7年 (2025)	令和8年 (2026)	令和9年 (2027)	令和10年 (2028)	令和11年 (2029)	令和12年 (2030)	令和13年 (2031)	令和14年 (2032)
推計値	99.8	99.7	100.0	100.7	101.3	102.2	103.2	104.7	106.2	107.4
補正推計値	99.8	99.7	100.0	100.7	101.3	102.2	103.2	104.7	106.1	107.4
【参考】高位	99.8	99.8	100.1	100.9	101.5	102.4	103.5	105.0	106.5	107.8
【参考】中位	99.8	99.8	100.1	100.8	101.4	102.3	103.4	104.9	106.4	107.6
【参考】低位	99.8	99.7	100.0	100.7	101.3	102.2	103.2	104.7	106.2	107.4
	令和15年 (2033)	令和16年 (2034)	令和17年 (2035)	令和18年 (2036)	令和19年 (2037)	令和20年 (2038)	令和21年 (2039)	令和22年 (2040)	令和23年 (2041)	令和24年 (2042)
推計値	109.5	111.6	113.4	115.3	117.6	119.8	121.7	123.7	125.4	126.8
補正推計値	109.4	111.5	113.2	115.2	117.4	119.5	121.4	123.3	125.0	126.4
【参考】高位	110.0	112.1	113.9	115.9	118.3	120.5	122.5	124.5	126.3	127.8
【参考】中位	109.8	111.9	113.6	115.6	117.9	120.1	122.1	124.0	125.8	127.2
【参考】低位	109.5	111.6	113.3	115.3	117.5	119.7	121.6	123.5	125.2	126.7

- ・高齢化率は、令和4（2022）年の24.2%から、令和24（2042）年には31.3%になると見込まれる。

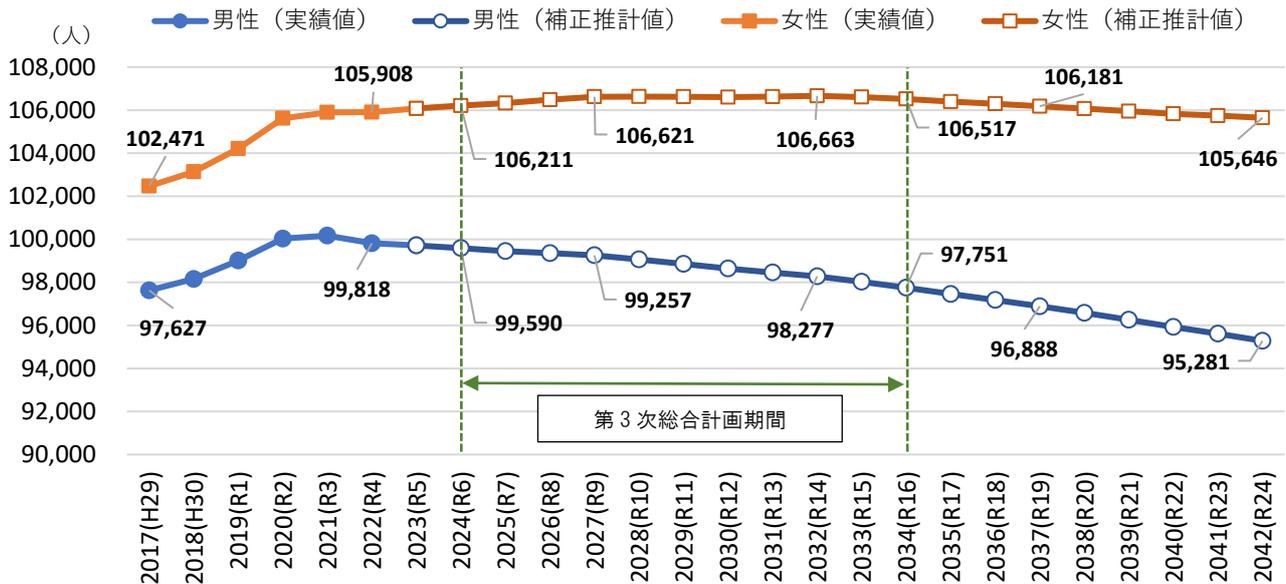
図表4-6 高齢化率の推計結果



### (3) 男女別人口

- ・男女別人口は、令和4（2022）年には、男性99,818人（構成比48.5%）、女性105,908人（同51.5%）となっている。
- ・男性人口は、令和4（2022）年以降、一貫して減少し、令和24（2042）年には95,281人と、令和4（2022）年に比べ4.5%減少すると見込まれる。
- ・女性人口は、令和14（2032）の106,663人をピークに減少傾向となり、令和24（2042）年には105,646人と、令和4（2022）年に比べ0.2%減少すると見込まれる。

図表4-7 男女別人口の推計結果



	平成29年 (2017)	平成30年 (2018)	平成31年 (2019)	令和2年 (2020)	令和3年 (2021)	令和4年 (2022)					
男性(実績値)	97,627	98,156	99,011	100,031	100,170	99,818					
女性(実績値)	102,471	103,136	104,211	105,622	105,897	105,908					
	令和5年 (2023)	令和6年 (2024)	令和7年 (2025)	令和8年 (2026)	令和9年 (2027)	令和10年 (2028)	令和11年 (2029)	令和12年 (2030)	令和13年 (2031)	令和14年 (2032)	
男性(補正推計値)	99,716	99,590	99,450	99,357	99,257	99,066	98,857	98,640	98,458	98,277	
女性(補正推計値)	106,076	106,211	106,327	106,486	106,621	106,631	106,623	106,602	106,627	106,663	
	令和15年 (2033)	令和16年 (2034)	令和17年 (2035)	令和18年 (2036)	令和19年 (2037)	令和20年 (2038)	令和21年 (2039)	令和22年 (2040)	令和23年 (2041)	令和24年 (2042)	
男性(補正推計値)	98,027	97,751	97,458	97,182	96,888	96,583	96,263	95,927	95,614	95,281	
女性(補正推計値)	106,608	106,517	106,397	106,297	106,181	106,069	105,951	105,827	105,742	105,646	

令和4年人口を100とした場合の指数

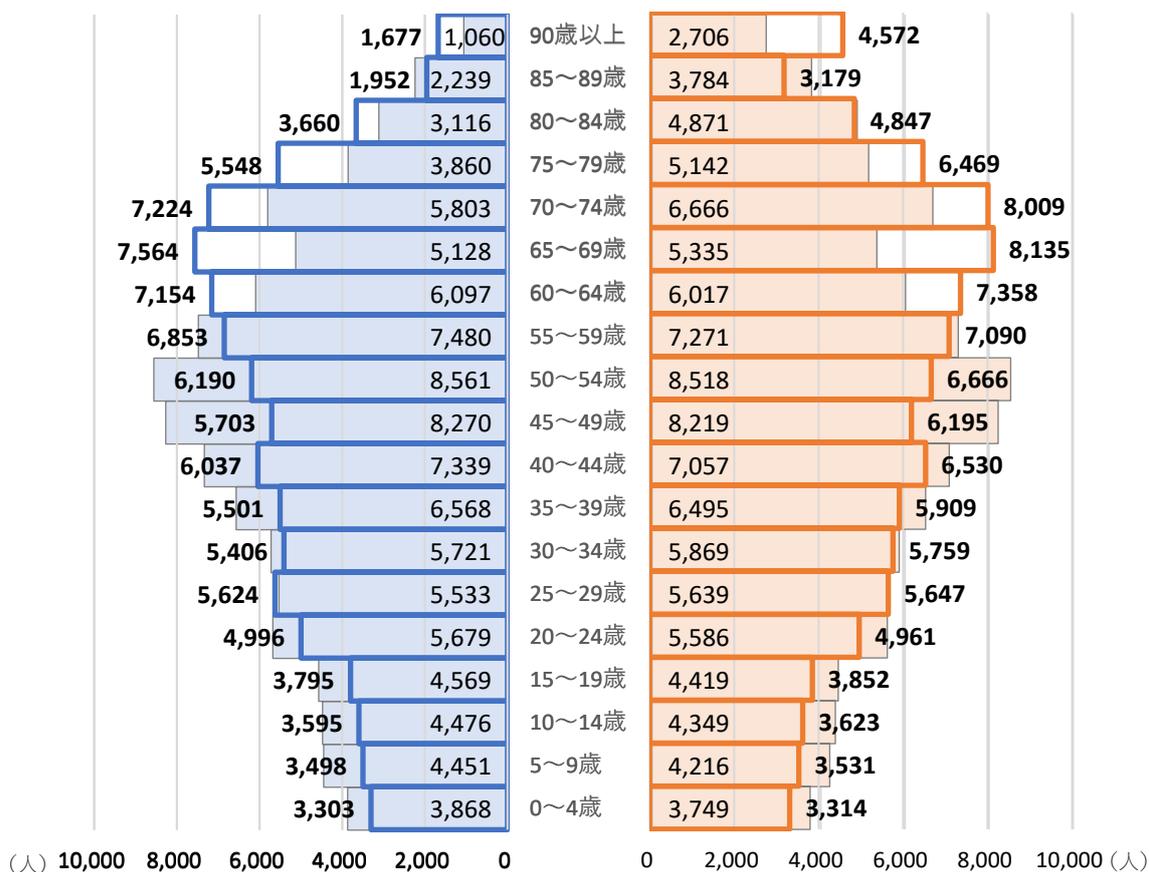
	令和5年 (2023)	令和6年 (2024)	令和7年 (2025)	令和8年 (2026)	令和9年 (2027)	令和10年 (2028)	令和11年 (2029)	令和12年 (2030)	令和13年 (2031)	令和14年 (2032)
男性(補正推計値)	99.9	99.8	99.6	99.5	99.4	99.2	99.0	98.8	98.6	98.5
女性(補正推計値)	100.2	100.3	100.4	100.5	100.7	100.7	100.7	100.7	100.7	100.7
	令和15年 (2033)	令和16年 (2034)	令和17年 (2035)	令和18年 (2036)	令和19年 (2037)	令和20年 (2038)	令和21年 (2039)	令和22年 (2040)	令和23年 (2041)	令和24年 (2042)
男性(補正推計値)	98.2	97.9	97.6	97.4	97.1	96.8	96.4	96.1	95.8	95.5
女性(補正推計値)	100.7	100.6	100.5	100.4	100.3	100.2	100.0	99.9	99.8	99.8

※【P3】2(3)「数値の取扱いについて」に記載のとおり、表中の数字の合計は補正推計値の合計と一致しない場合がある。

#### (4) 人口ピラミッド（5歳階級別人口）

- ・男女別5歳階級別人口の最も多い階級（ボリュームゾーン）は、男女とも令和4（2022）年の45～49歳から、令和24（2042）年には65～74歳になると見込まれる。
- ・男女とも、59歳以下の階級では、25～29歳を除いて減少する一方、60歳以上の階級では、85～89歳を除いて増加することが見込まれる。

図表4-8 人口ピラミッド（5歳階級別人口）



#### 男性

網掛け：令和4年(実績値)

枠線・太字：令和24年(補正推計値)

#### 女性

網掛け：令和4年(実績値)

枠線・太字：令和24年(補正推計値)

図表4-9 男女別・5歳階級別人口

(人)

	男性					女性				
	実績値←	→補正推計値				実績値←	→補正推計値			
	令和4年 (2022)	令和9年 (2027)	令和14年 (2032)	令和19年 (2037)	令和24年 (2042)	令和4年 (2022)	令和9年 (2027)	令和14年 (2032)	令和19年 (2037)	令和24年 (2042)
0～4歳	3,868	3,401	3,381	3,363	3,303	3,749	3,424	3,397	3,374	3,314
5～9歳	4,451	4,125	3,578	3,516	3,498	4,216	4,020	3,625	3,556	3,531
10～14歳	4,476	4,597	4,235	3,659	3,595	4,349	4,341	4,116	3,694	3,623
15～19歳	4,569	4,688	4,788	4,396	3,795	4,419	4,585	4,548	4,293	3,852
20～24歳	5,679	5,351	5,396	5,431	4,996	5,586	5,282	5,369	5,234	4,961
25～29歳	5,533	5,934	5,549	5,584	5,624	5,639	6,124	5,714	5,781	5,647
30～34歳	5,721	5,334	5,733	5,376	5,406	5,869	5,633	6,109	5,697	5,759
35～39歳	6,568	5,926	5,488	5,865	5,501	6,495	6,187	5,885	6,334	5,909
40～44歳	7,339	6,861	6,142	5,648	6,037	7,057	6,796	6,424	6,067	6,530
45～49歳	8,270	7,465	6,950	6,198	5,703	8,219	7,276	6,970	6,558	6,195
50～54歳	8,561	8,286	7,465	6,937	6,190	8,518	8,409	7,418	7,082	6,666
55～59歳	7,480	8,464	8,184	7,368	6,853	7,271	8,553	8,426	7,422	7,090
60～64歳	6,097	7,238	8,197	7,933	7,154	6,017	7,216	8,482	8,348	7,358
65～69歳	5,128	5,773	6,870	7,799	7,564	5,335	5,845	7,018	8,260	8,135
70～74歳	5,803	4,687	5,308	6,345	7,224	6,666	5,147	5,649	6,794	8,009
75～79歳	3,860	4,938	4,039	4,619	5,548	5,142	6,282	4,871	5,364	6,469
80～84歳	3,116	2,930	3,793	3,162	3,660	4,871	4,531	5,579	4,366	4,847
85～89歳	2,239	1,835	1,742	2,268	1,952	3,784	3,429	3,184	3,961	3,179
90歳以上	1,060	1,423	1,436	1,421	1,677	2,706	3,542	3,877	3,996	4,572
合計	99,818	99,257	98,277	96,888	95,281	105,908	106,621	106,663	106,181	105,646

男女別・5歳階級別人口の構成比

(%)

	男性					女性				
	実績値←	→補正推計値				実績値←	→補正推計値			
	令和4年 (2022)	令和9年 (2027)	令和14年 (2032)	令和19年 (2037)	令和24年 (2042)	令和4年 (2022)	令和9年 (2027)	令和14年 (2032)	令和19年 (2037)	令和24年 (2042)
0～4歳	3.9	3.4	3.4	3.5	3.5	3.5	3.2	3.2	3.2	3.1
5～9歳	4.5	4.2	3.6	3.6	3.7	4.0	3.8	3.4	3.3	3.3
10～14歳	4.5	4.6	4.3	3.8	3.8	4.1	4.1	3.9	3.5	3.4
15～19歳	4.6	4.7	4.9	4.5	4.0	4.2	4.3	4.3	4.0	3.6
20～24歳	5.7	5.4	5.5	5.6	5.2	5.3	5.0	5.0	4.9	4.7
25～29歳	5.5	6.0	5.6	5.8	5.9	5.3	5.7	5.4	5.4	5.3
30～34歳	5.7	5.4	5.8	5.5	5.7	5.5	5.3	5.7	5.4	5.5
35～39歳	6.6	6.0	5.6	6.1	5.8	6.1	5.8	5.5	6.0	5.6
40～44歳	7.4	6.9	6.3	5.8	6.3	6.7	6.4	6.0	5.7	6.2
45～49歳	8.3	7.5	7.1	6.4	6.0	7.8	6.8	6.5	6.2	5.9
50～54歳	8.6	8.3	7.6	7.2	6.5	8.0	7.9	7.0	6.7	6.3
55～59歳	7.5	8.5	8.3	7.6	7.2	6.9	8.0	7.9	7.0	6.7
60～64歳	6.1	7.3	8.3	8.2	7.5	5.7	6.8	8.0	7.9	7.0
65～69歳	5.1	5.8	7.0	8.0	7.9	5.0	5.5	6.6	7.8	7.7
70～74歳	5.8	4.7	5.4	6.5	7.6	6.3	4.8	5.3	6.4	7.6
75～79歳	3.9	5.0	4.1	4.8	5.8	4.9	5.9	4.6	5.1	6.1
80～84歳	3.1	3.0	3.9	3.3	3.8	4.6	4.2	5.2	4.1	4.6
85～89歳	2.2	1.8	1.8	2.3	2.0	3.6	3.2	3.0	3.7	3.0
90歳以上	1.1	1.4	1.5	1.5	1.8	2.6	3.3	3.6	3.8	4.3
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

※【P3】2(3)「数値の取扱いについて」に記載のとおり、表中の各項目の数値の合計と、合計値が合わない場合がある。また、割合(%)の合計値が100.0%にならない場合がある。

## (5) 世帯数推計

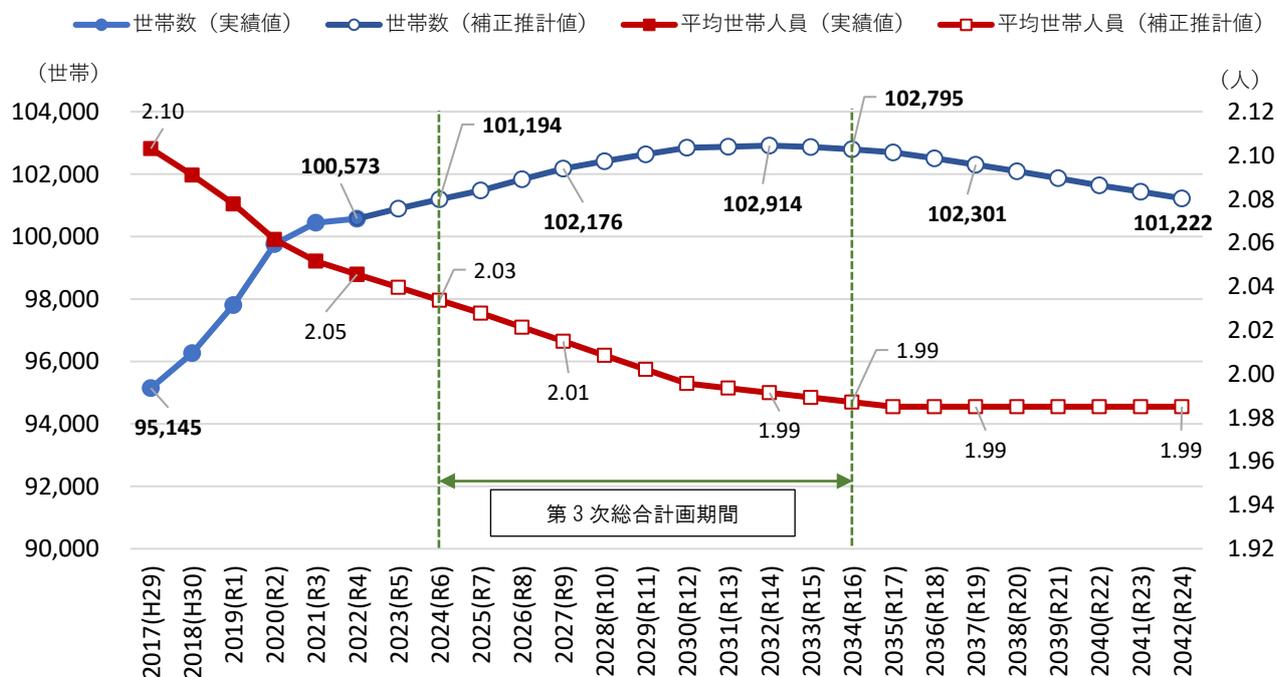
- 平均世帯人員は、過去10年間で、平成24(2012)年の2.17人から令和4(2022)年の2.05人と減少傾向を示している。
- 世帯数を推計するに当たり、国立社会保障・人口問題研究所が平成30(2018)年に推計した東京都の世帯数推計結果の増減率を乗じた値を、本市の将来の平均世帯人員として参照すると、令和24(2042)年には平均世帯人員が1.99に収束すると見込まれる。

図表4-10 西東京市の世帯数・平均世帯人員の推移

	平成24年 (2012)	平成25年 (2013)	平成26年 (2014)	平成27年 (2015)	平成28年 (2016)	平成29年 (2017)	平成30年 (2018)	平成31年 (2019)	令和2年 (2020)	令和3年 (2021)	令和4年 (2022)
総人口(人)	197,729	197,447	197,676	198,357	199,297	200,098	201,292	203,222	205,653	206,067	205,726
世帯数(世帯)	91,093	91,371	92,043	92,877	94,017	95,145	96,266	97,807	99,758	100,443	100,573
平均世帯人員 (人/世帯)	2.17	2.16	2.15	2.14	2.12	2.10	2.09	2.08	2.06	2.05	2.05

- 世帯数は、平均世帯人員が今後も減少すると見込まれることから、令和14(2032)年に102,914世帯(対令和4年比で2.3%増、2,341世帯)まで増加するが、その後は減少傾向に転じ、令和24(2042)年には101,222世帯(同0.6%増、649世帯)になると見込まれる。

図表4-11 世帯数・平均世帯人員の推計結果



実績値	平成29年 (2017)	平成30年 (2018)	平成31年 (2019)	令和2年 (2020)	令和3年 (2021)	令和4年 (2022)				
総人口(人)	200,098	201,292	203,222	205,653	206,067	205,726				
世帯数(世帯)	95,145	96,266	97,807	99,758	100,443	100,573				
平均世帯人員(人/世帯)	2.10	2.09	2.08	2.06	2.05	2.05				
推計値	令和5年 (2023)	令和6年 (2024)	令和7年 (2025)	令和8年 (2026)	令和9年 (2027)	令和10年 (2028)	令和11年 (2029)	令和12年 (2030)	令和13年 (2031)	令和14年 (2032)
総人口(人)	205,792	205,801	205,776	205,843	205,877	205,697	205,479	205,242	205,084	204,940
世帯数(世帯)	100,897	101,194	101,477	101,833	102,176	102,413	102,634	102,846	102,876	102,914
平均世帯人員(人/世帯)	2.04	2.03	2.03	2.02	2.01	2.01	2.00	2.00	1.99	1.99
推計値	令和15年 (2033)	令和16年 (2034)	令和17年 (2035)	令和18年 (2036)	令和19年 (2037)	令和20年 (2038)	令和21年 (2039)	令和22年 (2040)	令和23年 (2041)	令和24年 (2042)
総人口(人)	204,635	204,268	203,854	203,479	203,069	202,652	202,213	201,754	201,356	200,927
世帯数(世帯)	102,870	102,795	102,697	102,508	102,301	102,091	101,870	101,639	101,438	101,222
平均世帯人員(人/世帯)	1.99	1.99	1.99	1.99	1.99	1.99	1.99	1.99	1.99	1.99

注) 推計世帯数は小数点第一位、推計平均世帯人員は小数点第三位を四捨五入している。

(6) 行政区別人口 (参考)

- ・行政区別の将来人口を推計するに当たり、仮定値などの条件は全市推計と同じとする。

1) 総人口

図表 4-12 行政区別の人口推計結果

(人)

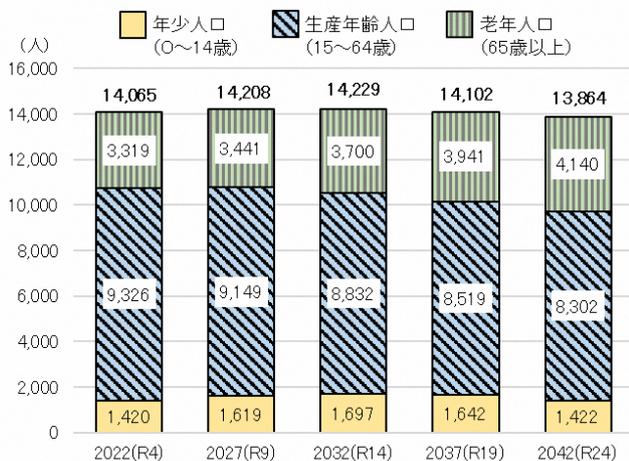
	令和4年 (2022)	令和5年 (2023)	令和6年 (2024)	令和7年 (2025)	令和8年 (2026)	令和9年 (2027)	令和10年 (2028)	令和11年 (2029)	令和12年 (2030)	令和13年 (2031)	令和14年 (2032)
田無町	14,065	14,097	14,125	14,148	14,180	14,208	14,219	14,224	14,224	14,227	14,229
南町	12,531	12,536	12,538	12,537	12,543	12,547	12,539	12,532	12,525	12,523	12,522
西原町	6,845	6,801	6,756	6,708	6,666	6,622	6,571	6,518	6,465	6,418	6,372
緑町	3,882	3,865	3,847	3,828	3,811	3,795	3,775	3,753	3,730	3,708	3,686
谷戸町	14,067	14,072	14,070	14,068	14,069	14,065	14,047	14,025	14,000	13,981	13,965
北原町	4,228	4,220	4,209	4,198	4,188	4,178	4,163	4,145	4,127	4,111	4,096
向台町	14,684	14,687	14,686	14,682	14,682	14,684	14,672	14,660	14,648	14,645	14,644
芝久保町	20,382	20,422	20,457	20,490	20,529	20,563	20,577	20,587	20,594	20,606	20,616
新町	8,992	8,996	8,998	8,997	8,999	9,001	8,992	8,981	8,969	8,960	8,951
柳沢	11,313	11,276	11,238	11,199	11,166	11,133	11,089	11,044	10,999	10,959	10,923
東伏見	5,062	5,064	5,063	5,060	5,059	5,057	5,050	5,042	5,034	5,028	5,024
保谷町	12,394	12,380	12,361	12,344	12,335	12,326	12,305	12,285	12,264	12,250	12,238
富士町	11,675	11,707	11,739	11,767	11,801	11,833	11,851	11,866	11,881	11,901	11,920
中町	7,423	7,428	7,433	7,436	7,443	7,449	7,445	7,440	7,434	7,431	7,429
東町	8,517	8,562	8,604	8,647	8,692	8,735	8,767	8,797	8,826	8,855	8,884
泉町	8,867	8,842	8,816	8,787	8,764	8,740	8,708	8,676	8,644	8,616	8,590
住吉町	7,109	7,087	7,062	7,038	7,019	7,001	6,977	6,950	6,925	6,901	6,879
ひばりが丘	10,465	10,482	10,495	10,504	10,515	10,519	10,511	10,500	10,486	10,475	10,465
ひばりが丘北	4,558	4,562	4,565	4,566	4,570	4,574	4,574	4,575	4,578	4,581	4,584
栄町	4,338	4,358	4,377	4,395	4,413	4,432	4,445	4,457	4,470	4,483	4,496
北町	5,989	5,996	6,000	6,003	6,008	6,012	6,008	6,002	5,995	5,990	5,985
下保谷	8,340	8,352	8,363	8,374	8,389	8,405	8,414	8,421	8,426	8,435	8,443
	令和15年 (2033)	令和16年 (2034)	令和17年 (2035)	令和18年 (2036)	令和19年 (2037)	令和20年 (2038)	令和21年 (2039)	令和22年 (2040)	令和23年 (2041)	令和24年 (2042)	
田無町	14,215	14,196	14,170	14,139	14,102	14,059	14,012	13,963	13,915	13,864	
南町	12,512	12,497	12,477	12,457	12,435	12,412	12,388	12,358	12,333	12,307	
西原町	6,323	6,271	6,220	6,171	6,124	6,078	6,034	5,993	5,955	5,918	
緑町	3,662	3,639	3,616	3,594	3,572	3,552	3,533	3,515	3,499	3,483	
谷戸町	13,941	13,912	13,882	13,857	13,829	13,800	13,769	13,738	13,709	13,673	
北原町	4,077	4,057	4,038	4,019	4,001	3,982	3,965	3,948	3,933	3,917	
向台町	14,631	14,614	14,596	14,581	14,563	14,546	14,530	14,515	14,507	14,500	
芝久保町	20,615	20,608	20,596	20,591	20,583	20,578	20,570	20,561	20,561	20,554	
新町	8,937	8,920	8,902	8,886	8,868	8,849	8,830	8,809	8,789	8,767	
柳沢	10,879	10,830	10,777	10,726	10,672	10,618	10,563	10,506	10,452	10,396	
東伏見	5,015	5,004	4,990	4,976	4,962	4,946	4,929	4,910	4,890	4,871	
保谷町	12,214	12,185	12,152	12,121	12,087	12,053	12,016	11,975	11,938	11,899	
富士町	11,927	11,929	11,925	11,922	11,917	11,907	11,892	11,871	11,852	11,829	
中町	7,422	7,416	7,409	7,404	7,399	7,392	7,384	7,376	7,371	7,364	
東町	8,904	8,920	8,932	8,944	8,954	8,963	8,968	8,972	8,976	8,981	
泉町	8,557	8,523	8,487	8,455	8,425	8,395	8,368	8,342	8,319	8,294	
住吉町	6,852	6,823	6,793	6,764	6,735	6,706	6,677	6,647	6,621	6,597	
ひばりが丘	10,446	10,427	10,408	10,394	10,380	10,368	10,359	10,349	10,345	10,341	
ひばりが丘北	4,583	4,579	4,574	4,567	4,558	4,549	4,538	4,526	4,514	4,501	
栄町	4,506	4,515	4,522	4,531	4,539	4,548	4,556	4,564	4,575	4,584	
北町	5,975	5,964	5,955	5,949	5,945	5,941	5,936	5,933	5,932	5,929	
下保谷	8,443	8,440	8,434	8,428	8,419	8,409	8,397	8,384	8,372	8,359	

※【P3】2(3)「数値の取扱いについて」に記載のとおり、表中の数字の合計は補正推計値の合計と一致しない場合がある。

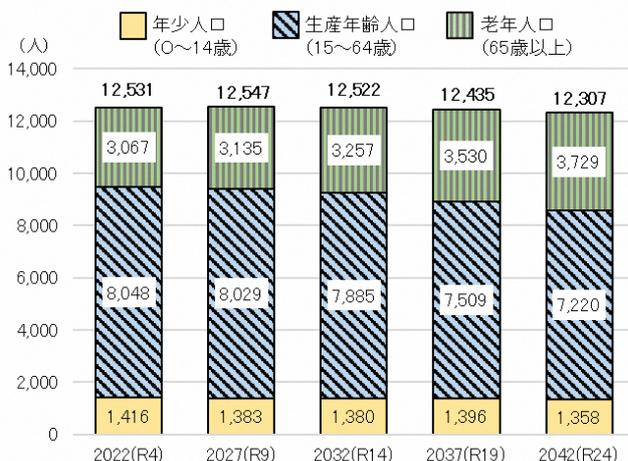
## 2) 年齢3区分別人口

図表4-13 行政区別の年齢3区分別人口

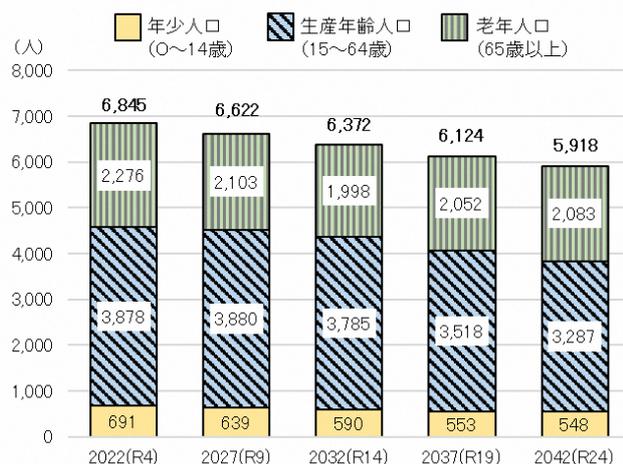
### ① 田無町



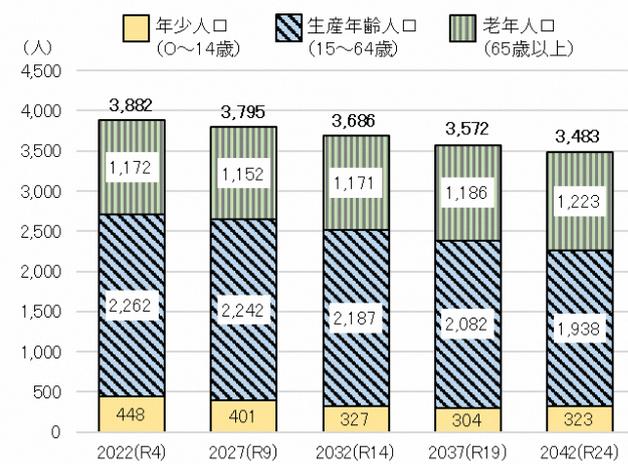
### ② 南町



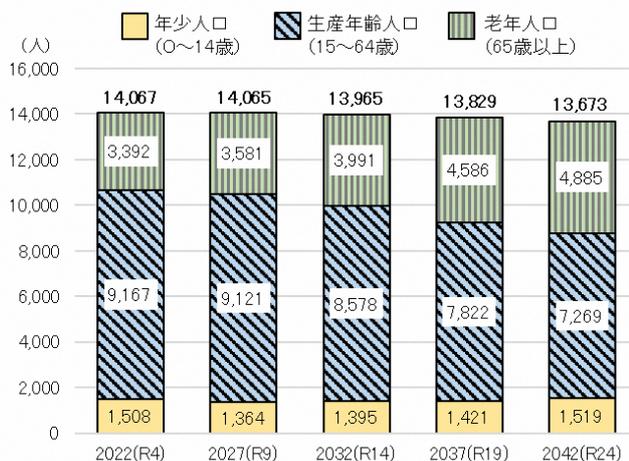
### ③ 西原町



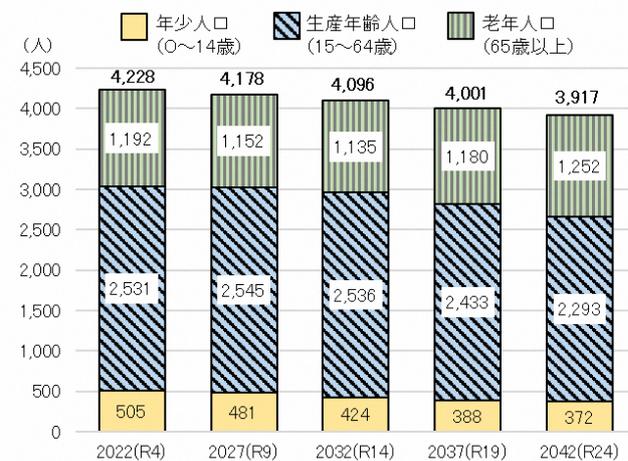
### ④ 緑町



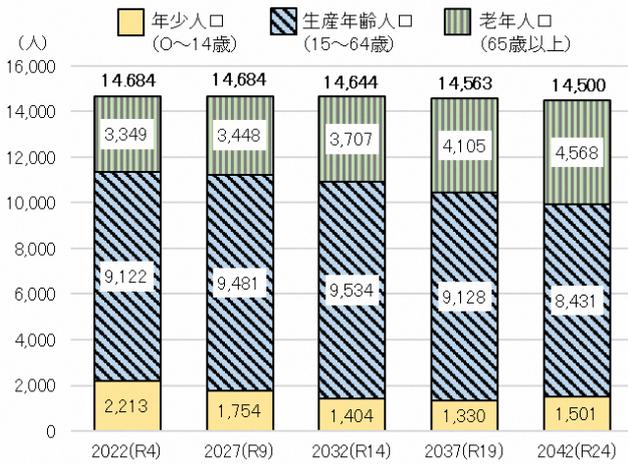
### ⑤ 谷戸町



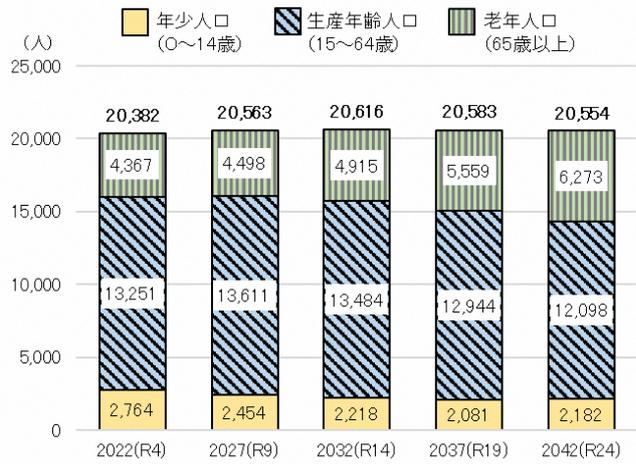
### ⑥ 北原町



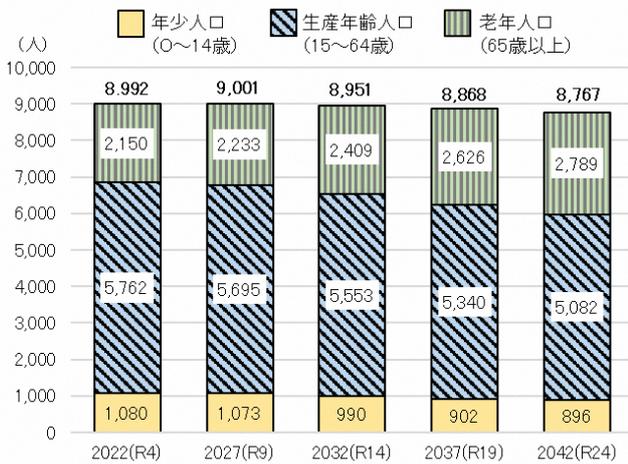
### ⑦向台町



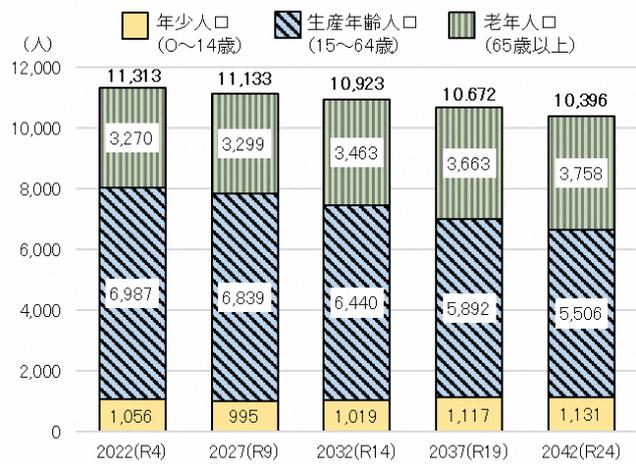
### ⑧芝久保町



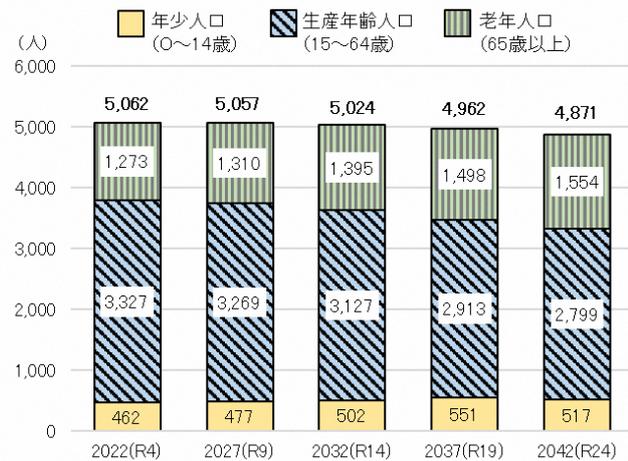
### ⑨新町



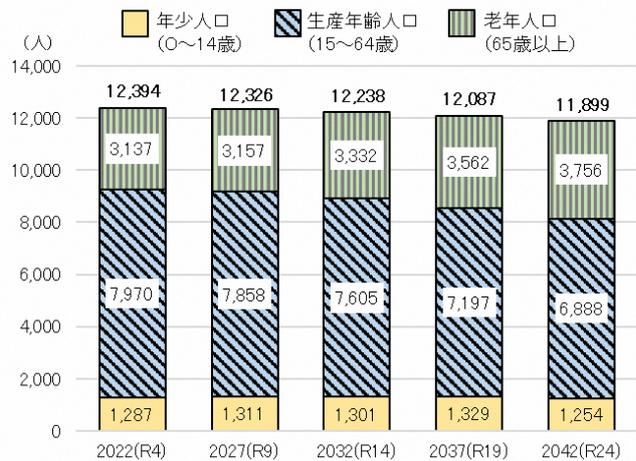
### ⑩柳沢



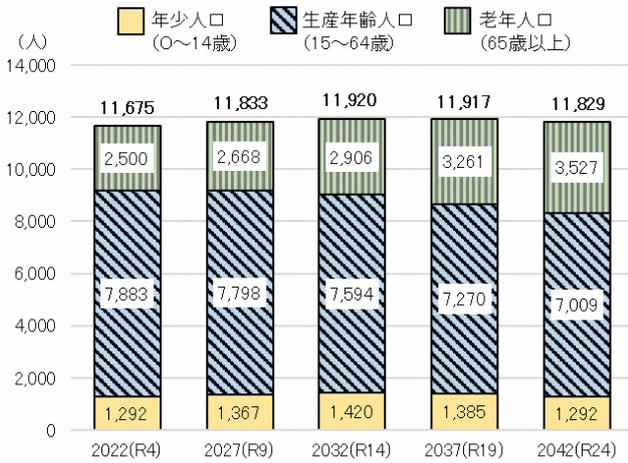
### ⑪東伏見



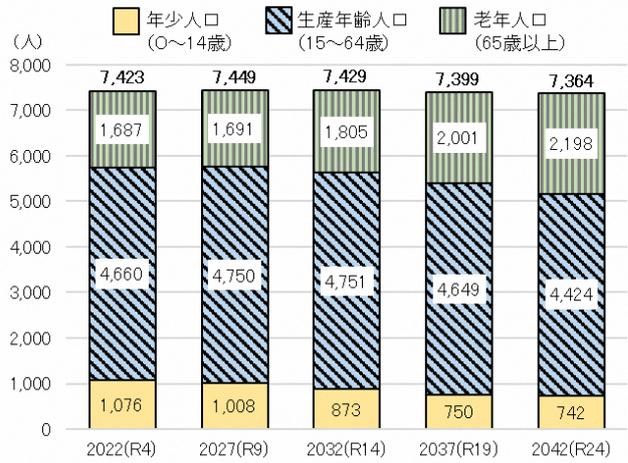
### ⑫保谷町



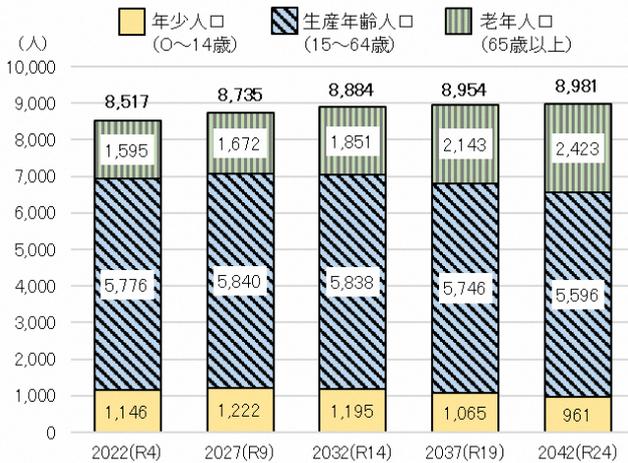
⑬富士町



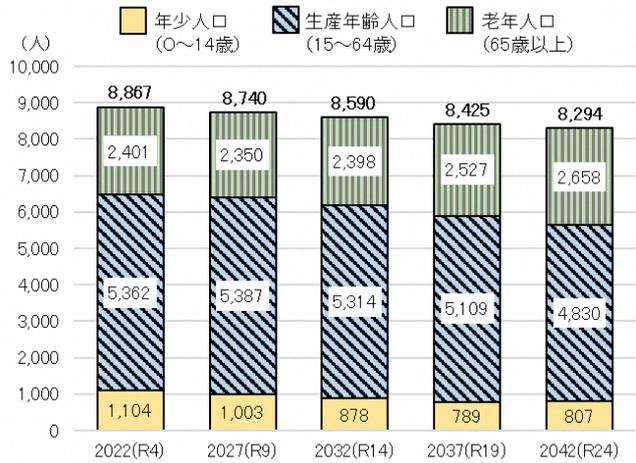
⑭中町



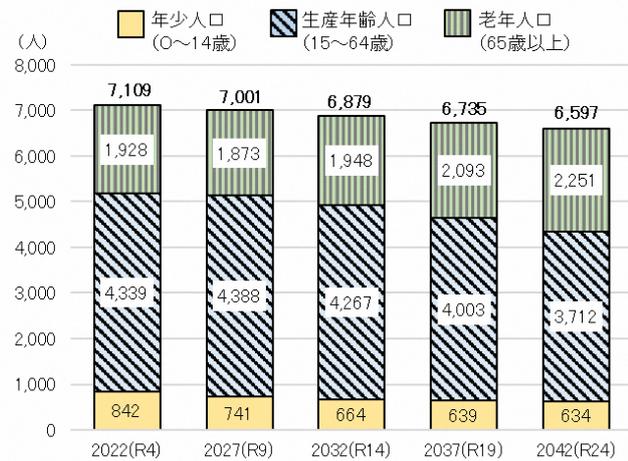
⑮東町



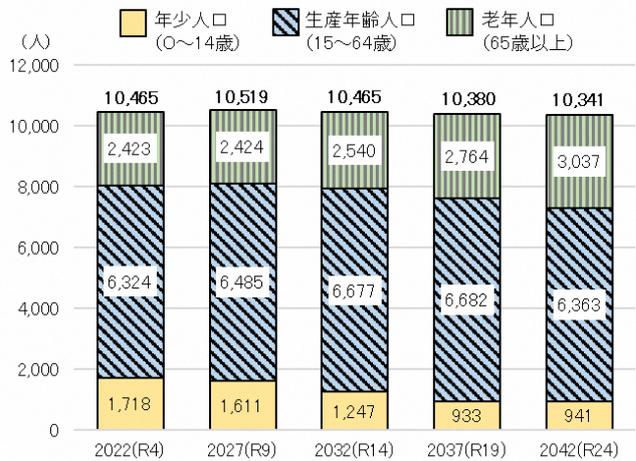
⑯泉町



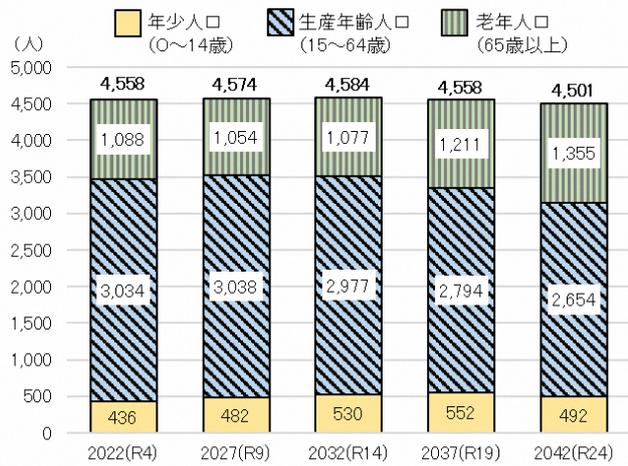
⑰住吉町



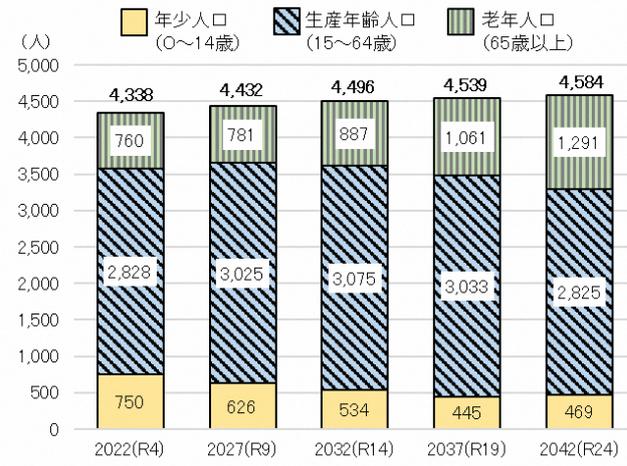
⑱ひばりが丘



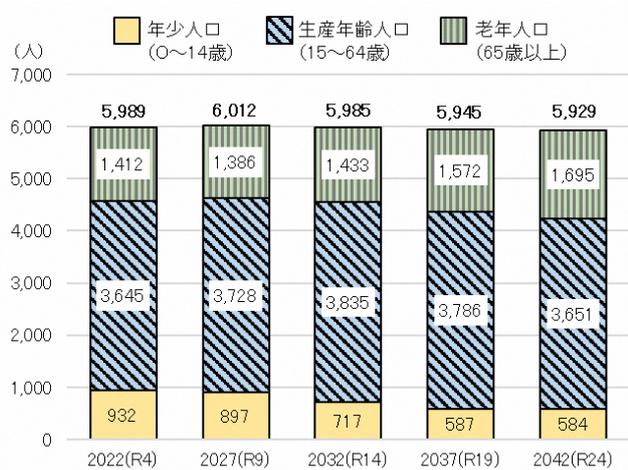
⑱ひばりが丘北



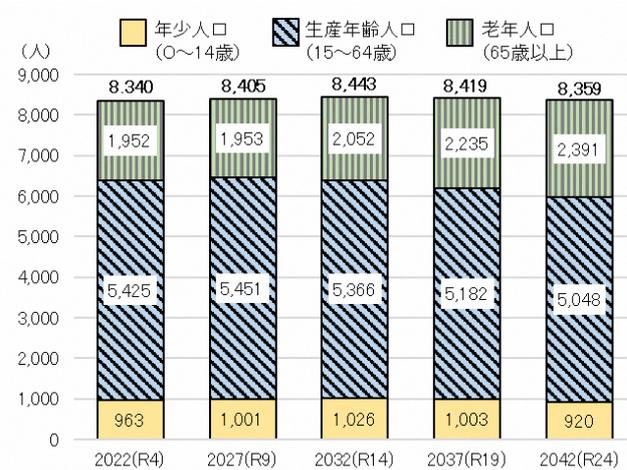
⑳栄町



㉑北町



㉒下保谷



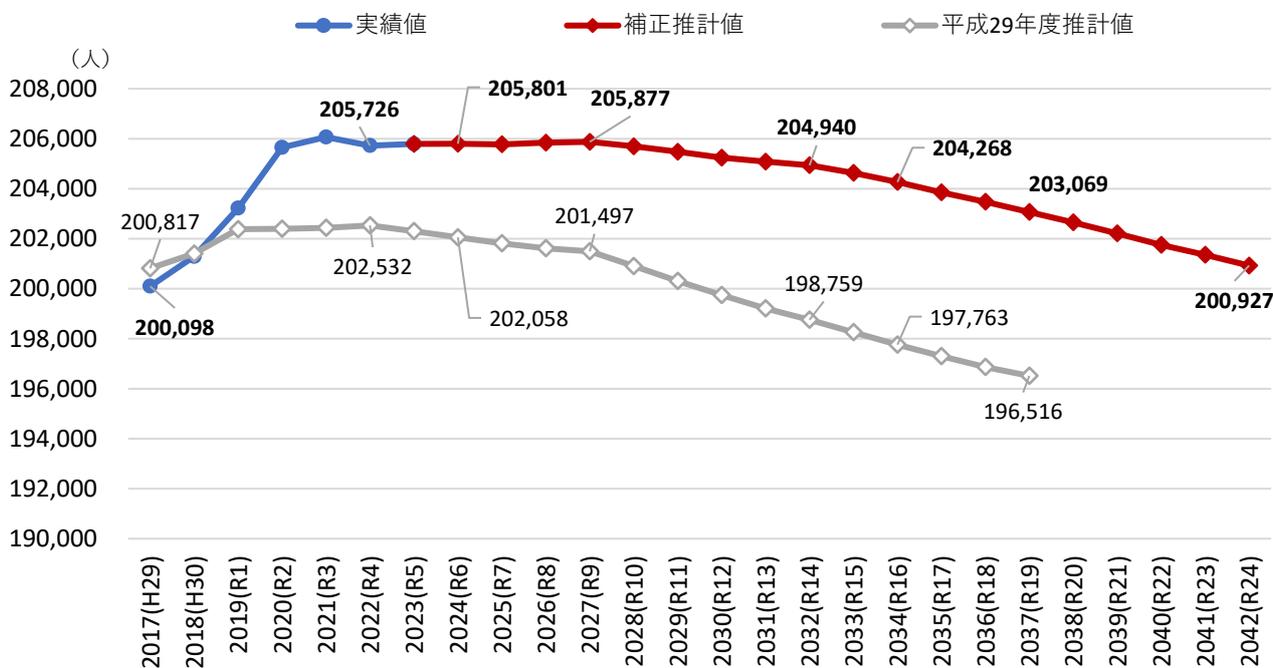
※【P 3】2 (3)「数値の取扱いについて」に記載のとおり、グラフ中の年齢3区分別の数字の合計は、行政区別の数値と一致しない場合がある。

## 5. 前回の人口推計等との比較

### 平成 29 年度推計結果との比較

- ・「西東京市人口推計調査報告書（平成 29 年 11 月）」では、平成 24（2012）年から平成 29（2017）年の住民基本台帳人口（各年 10 月 1 日）をもとに、本推計と同様の考え方に基づき、令和 19（2037）年までの推計を行っている。ただし、本推計で行った純移動率の補正は行っていない。
- ・平成 29 年度推計結果では、令和 4（2022）年の 202,532 人をピークに、その後は緩やかに減少し、令和 19（2037）年には 196,516 人になると見込まれている。
- ・令和 4（2022）年時点の人口について、平成 29 年度推計結果と、令和 4 年 4 月 1 日の実績を比較すると、総人口は、推計より実績が多くなっており、5 歳階級別にみると、年少人口の 5～9 歳、10～14 歳、生産年齢人口の 15～19 歳、30～34 歳、35～39 歳、40～44 歳、45～49 歳、50～54 歳、老年人口の 65～69 歳、70～74 歳、85～89 歳で増となっている。特に生産年齢人口の 30～44 歳で大幅な増となっている。一方、生産年齢人口の 25～29 歳で、推計と比べ大幅な減となっている。
- ・本推計では、直近 5 年間の社会増が大きいことを考慮し、推計に用いる純移動率の補正を行った上で推計を行った。平成 29 年度推計よりも減少傾向が緩やかになる結果となっている。

図表 5 - 1 平成 29 年度推計結果との比較



	平成29年 (2017)	平成30年 (2018)	平成31年 (2019)	令和2年 (2020)	令和3年 (2021)	令和4年 (2022)				
①実績値	200,098	201,292	203,222	205,653	206,067	205,726				
②平成29年度推計値	200,817	201,406	202,383	202,399	202,436	202,532				
差(①-②)	▲ 719	▲ 114	839	3,254	3,631	3,194	(人)			
	令和5年 (2023)	令和6年 (2024)	令和7年 (2025)	令和8年 (2026)	令和9年 (2027)	令和10年 (2028)	令和11年 (2029)	令和12年 (2030)	令和13年 (2031)	令和14年 (2032)
①補正推計値	205,792	205,801	205,776	205,843	205,877	205,697	205,479	205,242	205,084	204,940
②平成29年度推計値	202,304	202,058	201,817	201,619	201,497	200,907	200,311	199,747	199,212	198,759
差(①-②)	3,488	3,743	3,959	4,224	4,380	4,790	5,168	5,495	5,872	6,181
	令和15年 (2033)	令和16年 (2034)	令和17年 (2035)	令和18年 (2036)	令和19年 (2037)	令和20年 (2038)	令和21年 (2039)	令和22年 (2040)	令和23年 (2041)	令和24年 (2042)
①補正推計値	204,635	204,268	203,854	203,479	203,069	202,652	202,213	201,754	201,356	200,927
②平成29年度推計値	198,259	197,763	197,301	196,868	196,516					
差(①-②)	6,376	6,505	6,553	6,611	6,553					

図表 5 - 2 令和4年度の人口の推計値・実績値

	総数	0~4歳	5~9歳	10~14歳	15~19歳	20~24歳	25~29歳	30~34歳	35~39歳	40~44歳
①平成29年度推計値	202,532	7,681	8,132	8,717	8,942	11,516	11,782	10,731	11,954	13,602
②令和4年4月1日実績値	205,726	7,617	8,667	8,825	8,988	11,265	11,172	11,590	13,063	14,396
差(②-①)	3,194	▲ 64	535	108	46	▲ 251	▲ 610	859	1,109	794
	45~49歳	50~54歳	55~59歳	60~64歳	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85~89歳	90歳以上
①平成29年度推計値	15,887	16,802	15,142	12,328	10,376	11,943	9,287	7,994	5,882	3,835
②令和4年4月1日実績値	16,489	17,079	14,751	12,114	10,463	12,469	9,002	7,987	6,023	3,766
差(②-①)	602	277	▲ 391	▲ 214	87	526	▲ 285	▲ 7	141	▲ 69

西東京市人口推計調査報告書

令和4年11月

発行 西東京市企画部企画政策課

西東京市南町五丁目6番13号（田無庁舎）

電話 042-460-9800（直通）